



2014年度JPTAコンベンション 2014.11.25



理事長 佐藤 直子

新年のご挨拶

JPTA会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

昨年は日本のテニス界にとって歴史的な快挙に沸いた1年となりました。

錦織圭選手のUSオープン準優勝、ATPワールドツアー・ファイナル準決勝進出、そして世界ランキング5位に躍進したニュースは、テニス界のみならず日本中を大きな感動と希望で席捲しました。

私も、あのUSオープンの最終日に日本人選手がプレーをしていることを夢のように感じながら、日本人選手が四大大会のシングルスで優勝する日が近づいた瞬間を目の当たりにし、心が躍る思いでした。

昨年のJPTAコンベンション2014での協会賞授賞式では、錦織圭選手、奈良くるみ選手にご出席をいただき、二人のプレイヤーの活躍を表彰いたしました。

両選手の努力と頑張りに敬意を表するとともに、これまで日本のテニス界を支えてこられた方々の道程に思いを馳せる瞬間でした。

錦織圭選手の活躍により、テニスへの注目度が上がり日本のテニス界にとって追い風となっている今だからこそ、私達「日本プロテニス協会」もその機を逃さず、更なる発展に向けて着実に成長していかなければなりません。

選手の皆さんの活躍に伴う、テニス観戦者の増加とテニス人口の増加は、テニス関連事業拡大の契機です。

現在、日本人の平均年齢は約46歳とのことですが、会員の平均年齢もほぼ同じ傾向にあります。2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催に向けて、若い世代の力がますます必要となってきます。

将来のコーチを育成するために積極的に若い世代を取り込み、プロテニスコーチ、プロテニスプレイヤーで構成する組織としての強化が急務であると考えています。

日本経済は再生に向け、少しでも回復を実感することが期待されていますが、未だ厳しい状況にあります。しかしながら、テニス界にとっては新しい時代の到来を感じさせる願ってもない風が吹いているのです。

日本プロテニス協会もさらに進化して歩み続けるために、新たなチャレンジを図っていきたく思います。2015年、会員の皆様と共に協会の未来のために進んで参ります。

末筆ながら、会員の皆様のご健勝とテニス界の発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



CONTENTS

- 1 - 新年のご挨拶
- 2 - 「時の人」吉田 友佳 氏
- 5 - 技術指導「技術論」
- 10 - コンベンション開催報告
- 15 - プロプレイヤーインタビュー 茶園 プロ
- 16 - 勝木先生に聞く!
- 18 - テニスの日報告 / 能登国際報告
- 20 - ジュニア育成・強化プログラム
- 22 - ジュニア全国大会ご案内
- 23 - マイアミ遠征報告 / P+Sイベント報告
- 24 - ブラッシュアップ開催報告
- 26 - 資質向上委員会
- 27 - 新入会員挨拶
- 28 - 資格認定 新テニスターの紹介 / 講習会感想
- 29 - プロテスト・UPテスト昇級者 / コーチ紹介ページ掲載のお願い
- 30 - 地区便り / 地区会開催報告
- 31 - 会員人物紹介
- 32 - 会員サービス委員会からお知らせ
- 33 - facebook / JPTA HOTNEWS登録のご案内 / ホームページ求人広告受付
- 34 - 年会費請求 / 退会・会員種類更新手続き / 事務局だより
- 35 - 選挙に関するご案内
- 36 - 公認推薦賛助企業 / 編集後記

「時の人」

吉田 友佳氏
Yuka Yoshida

「時の人」では、テニス界のみならず、様々な分野で活躍されている方にお話を伺い、視野を広げてテニス界を盛り上げるヒントを見つけていきたいと思っています。

第8回目は、フェドカップ日本代表チーム、11年ぶりの女性監督に就任された吉田友佳さんです。

ご多忙なスケジュールのなか、全日本選手権が開催中の有明テニスの森にてインタビューをさせていただきました。

インタビュアー：荒井英樹理事



本日はお忙しいところインタビューのお時間をいただきありがとうございます。よろしくお願いします。

【代表監督就任について】

荒井理事 フェドカップ代表監督就任おめでとうございます。1年が過ぎましたが、どのような経緯で代表監督の依頼があったのでしょうか。

吉田監督 就任する前にテニス協会の植田本部長から、次は女性の代表監督を考えているとお話があり、最初はまさか私に声がかかるなんて思ってもいなかったので、「考えさせてください。」と保留にしたのですが、その後何度かお話をするうちに、女子をまとめていくうえで私がこれまでやってきた経験を少しでも活かせるのであれば挑戦してみたいという気持ちになり、お受けすることに決めました。

荒井理事 その時、何人か候補はいらしたのでしょうか。

吉田監督 何人かに絞って考えていらしたとは思いますが、現場でのコーチの経験があるということが一番重視していたと伺いました。私は、『Team YUKA』で、ジュニア育成の現場を5年間行ってきた実績がありましたので、私のところへお話がきたのかな、と思っています。

荒井理事 監督を引き受けるにあたり悩まれたかと思いますが、その時のお気持ちはいかがでしたか。

吉田監督 とても悩みました。責任があまりにも重いので、本当に私でいいのだろうか。やはり自分が選手の時の経験から監督の立場の大変さがわかるため、とても悩みましたが、自分の今までの選手生活やそして引退してからも含めて、新たなことに声をかけていただいたり、チャンスがきたら基本的には何事にも挑戦してみようという気持ちですとやってきているので、不安な気持ちは何度かお話をしましたが、やると決めたからには頑張ろうと思いました。

荒井理事 選手の方とは以前からお互いにご存知だったとは思いますが、監督に就任されて初めて顔を合わせた時の印象はいかがでしたか。

吉田監督 発表になる前に、選手達に監督になることに決まったことを伝え、その後9月の全米オープン後に、直接選手と話をしました。

とにかく最初は選手たちのあらゆる練習と試合をできるだけ観に行きました。全豪オープンあたりまで半年間は徹底的に選手の様子を観に行き、コミュニケーションをとりました。選手達の試合や練習を観て、コーチとコミュニケーションをとることが最初の仕事だと考えていました。その期間を経て、最初のフェドカップを迎えました。



【監督像について】

荒井理事 ご自身が選手の時の監督、そして今ご自身が監督となり選手と関わるなかで、両方の立場を経験されて、どういう監督でありたいとお考えですか。

吉田監督 フェドカップを含めアジア大会など日本代表選手として戦ってきた時に、ナンバー1ではなく、ナンバー2やナンバー3として戦う

ことが多かったので、いろんな状況に対応できる選手としてシングルスもダブルスも、自分ならではの役割があると思ってやってきました。監督になった今は、いろんな選手の気持ちをわかってあげたいなと思い、まず最初にNTCでも幅広い選手が練習できる環境づくりを心がけました。

荒井理事 監督が練習メンバーを招集するのですか。

吉田監督 まずナショナルメンバーを決めて、その選手達がNTCを利用できるようになります。まずはメンバーを決める際に幅広い選手層をと考えました。もちろん私だけの意見ではありませんが、ランキング的にはまだ高くなくても、これから伸びるだろうという選手も含めて利用可能な状況を作ったので、選手たちは切磋琢磨して、特に若い選手が頑張れる環境になったかと思います。

荒井理事 監督がいろんな所に足を運んで、選手の情報を得て状態や調子を見て、メンバー候補とするのですか。

吉田監督 もし、コーチとしてナショナルチームに入ると言われていたのであれば、私には無理だったと思います。コーチング技術は簡単ではなく、とても大変だと思っています。選手の能力を生かして、技術を進化させるという作業は、何年かコーチをやっていたとしてもなかなか難しいと考えています。ただ、選手としての経験をどう伝えるかということなら、私にもできると思いました。

監督として何をするのかと言えば、環境整備だと思います。今、何が足りないのか、選手たちには基本的にコーチがいるので、どう引き上げるかどうかサポートしていくのか、トレーナーが必要なのか、コーチが必要なのか、どういったアプローチをすればいいのか、選手が頑張るための環境づくりをするのが自分の仕事だと思っていますので、コーチとは全然違います。毎日コートに入って、選手が強くなれるように技術指導をするという立場であれば、もっといろいろなことを学ばなければできなかったと思っています。監督としてはこれまでジュニアチームをまとめてきたこともあり、選手としての経験もありますので、気持ちをわかってあげられるのではないかと思います。

荒井理事 大変だとは思いますが、吉田さんだからこそ！という感じを受けます。

吉田監督 最初はどこまで入っているのか、どこまで求めているのかわからない時もありました。

荒井理事 コーチの仕事、監督の仕事、それぞれの役割に関しては、どなたかのアドバイスがあったのですか。それとも、吉田監督がこうだと感じてそう動かれたのですか。

吉田監督 監督とはそうあるべきだと思って動きました。私が選手時代の小浦（武志）先生が監督だった時のことを思い出すと、当時監督は選手が頑張るために、食事をタイミングよく食べられるように気をつけていただいて、朝からおにぎりを作ってくれていたり、選手のためにはどんなことでもしてくれていました。

私にもプライベートコーチがいましたし、他のコーチからのアドバイスもうけていましたが、フェドに行った時に接した当時の代表監督は、とても落ち着く存在でした。一緒にコートに入ってバリバリと指導するというわけではなく、監督というのは何かあったら相談にのってくれて、より良い環境をつくってくれる存在でした。



現在は、時には若手選手と一緒に打ったり、コーチングをすることもあるのですが、指導のメインはナショナルコーチがすることとして、役割は分けているつもりです。コーチはコーチにしかできないことがあると思うので。

荒井理事 それは、これまでやってこられた『Team YUKA』のご経験でそのように思われたのですか。

吉田監督 そうですね。コーチに選手の何が足りなくて何が必要かを相談して、それを実際のレッスンのなかでどう落とし込んでいくかはコーチの方がスキルが高く、具体的に考えてくれていますので、『Team YUKA』でも私がヘッドコーチという立場ではありません。

荒井理事 ちなみに、前の代表監督の方々とは何か引き継がれたことなどはあったのですか。

吉田監督 村上さんとは残念ながらタイミング的にもお会いできず、お話しする機会がなかったのですが、植田さんや小浦さんや、井上悦子さんは選手時代につながりがあったので、ご相談することはありました。

【監督として1年が過ぎて】

荒井理事 さて、監督として1年が経過しましたがいかがですか。

吉田監督 大変なことばかりで…これでいいのか、この方向で正しいのかとの迷いもありましたし、何よりフェドカップはアウェーが続き、負けてしまったことで考えなければいけないことも多く、またグランドスラムに選手のサポートに行きますが、何が選手に必要なのかを考える日々でした。

9月にアジア大会があって、そこで責任をもって自分が選手たちと一緒に、団体戦、個人戦を戦ったことが、私としては一つの大きなきっかけになりました。とにかくやるしかなかったので、毎日ミーティングをして、常に選手とともに行動して戦ったのは、とてもいい経験で、本当に必要なことが見えてきたと思います。

荒井理事 来期は期待できそうですね。

吉田監督 そうですね。次はもっと具体的にやっていけるのではないかと思います。

荒井理事 監督として任期は決まっているのですか。

吉田監督 任期はないので、まずは次のフェドカップまでは全力でやるつもりです。

荒井理事 監督からみて、今の日本代表チームの雰囲気はいかがでしょう。

吉田監督 奈良選手は、どんな時も全力で努力するタイプで、コーチとの強い信頼関係を感じます。他の選手たちも、みんな向上心を持ってやっていますので、選手との関係が大変だと思うことはありません。選手同士の仲もよくとてもいい関係だと思います。ただ課題としては、今100位以内にいるのは奈良選手とクルム伊達選手だけです。つまりは100位以内にしていけるかが課題です。(取材当時)

荒井理事 そこは、各選手のホームコーチとコミュニケーションをとっているわけですね。

吉田監督 ホームコーチとの連携と、ナショナルのコーチとどう強化するのかを相談しています。

荒井理事 選手とナショナルのコーチは基本的に毎日会うわけではないですね。選手によって違うのですか。

吉田監督 基本的には選手には各コーチがついていますが、選手によってコーチとの契約状況が違うのでサポートの仕方も選手によって様々です。

【女性監督として】

荒井理事 1年が過ぎて、選手達からはどのようにご自身を見られていると思いますか。これまでの監督のなかで、年齢が選手たちと最も近いですし、久しぶりの女性監督ということで同性であることの難しさもあるのでしょうか。

吉田監督 どうなんでしょう？いつも普通の会話をしています。いわゆる「監督」というイメージではないのかもしれませんが、みんな監督と呼んでくれています。

荒井理事 今、選手の中で一番若い選手は？

吉田監督 今、接しているのは19～22歳です。選手たちからは、何でも言えると思っていてくれると思います。何かあれば一番に言ってくれていると感じていますので、それに対してどう応えてあげようかと考えています。

荒井理事 監督はいつも優しく穏やかな印象なのですが、叱ったりもするのですか。

吉田監督 アジア大会のミーティングなどでは、やはり伝えるべきことはしっかりと伝えなければいけないので言うようにしていました。選手と距離が近すぎるというわけではないので、そのあたりはバランスが必要だと考えています。

荒井理事 怖い監督という時もあるのですか。

吉田監督 自分が選手時代には、何かあれば相談したいなと思って、それに的確に答えてもらっていたという記憶があるので、そういう時に同じように導いてあげられるように成長していかなければいけないと思っています。

荒井理事 11年ぶりの女性監督ですが、女性監督と男性監督と何か違いはあるのでしょうか。

吉田監督 結局はチームとして考えて行動していますので、大きく違いはないと思いますが、私が女性だから、逆にコーチには男性がついて、というふうにはバランスが必要かなと思います。もし男性監督だったら、サポート側には女性が必要なのかもしれません。私自身が女性だからということではなく、全体として見た時に、女性でいいところもあれば、コーチとしては男性がひびいてガンガン打合えたり、それぞれのよさがあると思います。

荒井理事 ジュニアのコーチをやっていると、思春期の女の子は本当に難しいと思っていたのですが。

吉田監督 私もジュニアのコーチをやっている時は、思春期の女の子には女性だからこそ厳しく接するようにしましたね。甘えが出やすいので、怒るということではなく厳しく感じていたのではないかなと思います。今、監督となって接している選手達は、その世代(思春期)は超えているので。

グランドスラムの予選を戦っている選手たちは、どうしたらここを抜け出せるのかともがいているので、そんな選手たちに対しては、自分が女性選手だったという目線で、自分のツアー経験などを交えて答えています。そして、選手もいつかは引退の日がくるので、引退後にもっといろんなチャンスが女子選手にもあればいいなと思って、女性の登用を考えています。今回、神尾さんにジュニアの担当として入ってもらったり、前回のフェドカップには森上さんにマネージャーに入ってもらったりなど、今まで頑張ってきた女性選手の経験を活かしたいという思いがあって、私が監督になり、関わる女性が増えたかなと思います。

荒井理事 日頃は、選手から声をかけられることが多いですか、それとも監督から選手に声をかけることが多いですか。

吉田監督 選手によって接し方が違うので、監督として、もっともっと選手を導いてあげられる人になりたいですね。選手がうまくいっていない時や、けがをしてしまって調子がよくない時にどれだけサポートをしてあげられるかが、選手との関係の中では大事だと思います。

荒井理事 ご自分が選手時代に監督に言われて心に響いたことや、印象に残っていることはありますか。

吉田監督 井上(悦子)さんの生き様は、とても尊敬しています。今もジュニアの仕事で一緒にいるときは、すごいな!と思っています。

荒井理事 熱い方ですね。

吉田監督 熱くて、「しっかり言い切ってやりきる」という姿勢がとても魅力的です。それは悦子さんの監督時代だけでなく今も感じているので、私自身が今の選手たちにそんなふうに使われるようにしたいと思っています。小浦先生はとても器の大きな方で、例えば競って力が入るような場面の時に、あえて違う話題をもってきて、力が入り過ぎないように配慮してくれていたようです。その時には気がつきません





でしたが、緊張して力が入ってしまう時、「リラックス」と言葉で言うのではなく、勝手にリラックスできるようなことを考えて言ってくださっていて、本当に奥が深かったです。そのような深さを出すには、

私はまだ若過ぎるかなと思います(笑)。

荒井理事 後になって分かる、ということですね。

吉田監督 ほかに選手時代、米沢そのえさんという女性コーチから指導をうけていましたし、そういう方々の影響はしっかりと受け継いでいるとは思っています。

荒井理事 監督の仕事を引き受けるというのは、本当に大変ですね。

吉田監督 自信をもって最初から監督を受けたわけではないので、精一杯やるしかないですし、その姿勢を選手に見せていかなければいけないと思っています。

【 オフについて 】

荒井理事 話は変わって…オフの話など。今、お休みはあるのですか？

吉田監督 ほぼないです。月に1回急な雨で練習がなくなったり、というくらいで。基本はナショナルの仕事がメインですが、それがなくても自分のクラブの仕事があるので、完全なお休みはないですね…。でも、半日時間がある時など、時間刻みで予定を入れてしまいます。本当はもうちょっとだらだらしていればいいのかと思うのですが。

荒井理事 日頃が忙しいので、癖になっているのではないですか。

吉田監督 そうみたいです。子供の時テニスを始めた頃から忙しかったので。ジュニアって忙しいですね。学校に行って、着替えてテニスに行って、帰ったら宿題をやって寝てという毎日、土日は試合でと子供の頃から時間刻みの中で生きてきたので。

荒井理事 スケジュールを作るのが上手なのでしょうか。

吉田監督 用事は先にやってしまえば、また他のことができると思ってやるのですが、意外とそれが終わるとすぐに他の用事が出てくるんですけれどね。でも時間がないと言いつつも、映画はよく観にいきます。ショッピングにも出かけます。

荒井理事 ご主人とお出かけになるのですか。

吉田監督 映画にはよく一緒に行くのですが、趣味が合わないの(笑) お互いの観たいものを選んで1日に2本続けて観たりします。邦画が好きなので、最近では「るろうに剣心」「ルパン三世」「ホットロード」も観ました。他にも、iTunesにダウンロードして時間さえあれば映画を観ています。

荒井理事 気分転換は映画なんですね。

吉田監督 他には本を読んだり、物語の世界に入るのが好きみたいです。移動の時にも本を読むか、iTunesにダウンロードした映画を観ています。

荒井理事 最近、ご自身のトレーニングはしているのですか。

吉田監督 監督になる前はジムに通っていたのですが、最近は忙しくて行けなくなってしまいました。しいて言えば、夜、『Team YUKA』の小学生に混じって走ったり、一緒に打ったりするのが、私のトレーニングでしょう。

荒井理事 ジムと言えば、ご主人がプロですもんね。(注：ご主人は(公財)日本体育協会公認 アスレティックトレーナー：金子 和宏氏)

吉田監督 食事に関しても旦那のほうに気をつけています。旦那は、家では夜はささみとサラダというタイプなので、作らなくていい感じです(笑)。

また、私の母が栄養士だったこともあって、小さい頃から選手時代はとても気をつけていました。お菓子代わりに煮干や、栄養があるというクッキーを持たされたりしました。選手時代も身体があまり大きくならなかったのも、食事の量をいかにして摂るかを考えていました。今は3食を普通に摂っていますが、子供の頃から身体に気を使った食事だったこともあり、油っこいものは好きではないようです。

荒井理事 お二人ともお忙しい毎日だと思いますが、もし、長いお休みがとれたら、どこに行きたいですか。

吉田監督 沖縄が軽井沢に行きたいと思っています。1回だけテニス以外の旅行で沖縄へ行きました。それ以外はどこへも行っていないので、二人でもう一度沖縄に行きたいと話しています。あとは、最近は軽井沢にも行きたいと思っています。

荒井理事 ご主人との旅行はこれまでで1回だけなんですね。

吉田監督 今は無理ですが、いつか行けると楽しみにしています。

荒井理事 テニス以外でやってみたいスポーツはありますか？

吉田監督 7歳でテニスを始めたので、それ以外のスポーツのチョイスがなかったです。

荒井理事 テニスを始めたきっかけは？

吉田監督 両親が趣味でテニスをやっていたので、たまたま入ったクラブが、プロ育成のクラブで、最初に体験に行った日に杉山愛さんと一緒に。岩渕聡さんも一緒に。

荒井理事 杉山さんとは今もよく会うのですか？

吉田監督 会っています。テニス以外の話がほとんどですが、私が監督になってからは気にかけてくれて、何かあるとよく相談にのってくれます。

【 今後の目標・メッセージ 】

荒井理事 おしまいに、日本代表選手に望むこと、目標や抱負は。

吉田監督 来年の方針としては、リオデジャネイロのオリンピックに向け、出場するためにランキングも明確に64位以内という条件が出てくるので、それに向けてどのようにサポートしていくか、選手自身もプロとしての気持ち強い選手ばかりですが、さらに目標を高くもって頑張っていけるかだと思います。

荒井理事 最後に、吉田監督にとって「テニス」とは。

吉田監督 テニスとは自分そのものです。おもしろいと思うのは、コートに入ると自分の思っていることが全部出てしまうところです。本当に一生懸命やっていないと全てコート上で出てしまう、だからこそ魅力があり嘘はつけない。自分そのものだと思います。

荒井理事 JPTA会員の皆様にメッセージをお願いします。

吉田監督 今、錦織圭選手が世界ランキング5位にいて、これから日本人選手がさらに世界で活躍できる時代になってくると思いますので、コーチの皆様の指導が、まさに次世代に直結していくことと思います。皆様で力を合わせて選手をサポートしつつ、また、テニスの普及にも力を入れていって頂きたいと思います。

荒井理事 これからの活躍を期待しています。本日はありがとうございました。



吉田 友佳 監督 (よしだ ゆか)

プロフィール

生年月日: 1976年4月1日
血液型: A型
出身地: 横浜市
出身校: 東京都市大学環境情報学部
身長: 161cm
趣味: ゴルフ・読書・ドライブ
テニスアカデミー Team YUKA代表



7歳からテニスを始め、1994年4月プロ転向。

全日本選手権 単優勝(2003年) / 複優勝(1997、2003年)

フェドカップ 1998~2002、04年出場 / シングルス3勝5敗、ダブルス6勝1敗

4大大会シングルス本戦

全豪 (1995、97~99年 / 最高2回戦)、

全仏(1997、98年 / 最高2回戦)、

ウィンブルドン (1997、98、2000年 / 最高2回戦)、

全米 (1997、98年 / 最高2回戦)

1998年全米 複ベスト8

2002年釜山アジア大会 複銅メダル

自己最高世界ランキング52位

2013年9月~ フェドカップ日本代表監督

指導技術

技術論

世界基準を見据えたうえでの低年齢の指導

～U14までの子供たちに何を植え付けるべきなのか!?～

(続編No.5)

公益財団法人日本テニス協会強化本部
ナショナルチームジュニア女子ヘッドコーチ
ジュニアフェドカップ監督 中山 芳徳



パーフェクトフットワーク (完成度の高いフットワーク)

今回は、今まで説明したフットワークの完成度を高くするためのトレーニング方法について、ベースライン上でのフットワークを中心に、フィジカルトレーニングから技術への移行と、オンコートでのシチュエーション練習の一例を紹介します。

ヒッティング動作を含めたフットワークを右記のようなステップで、ディベロップする。

フットワークの一連の動作

+

ストロークのリズム

=

フットワークのスキル

オープンスタンス、スクア、ランニングパス、回り込む、バックピボット、アタッキング、リターン、ボレー、スマッシュ、スライディングなど

シチュエーション
=状況設定で練習

ディベロップ1 (D1) : フットワークの一連の動作を開発

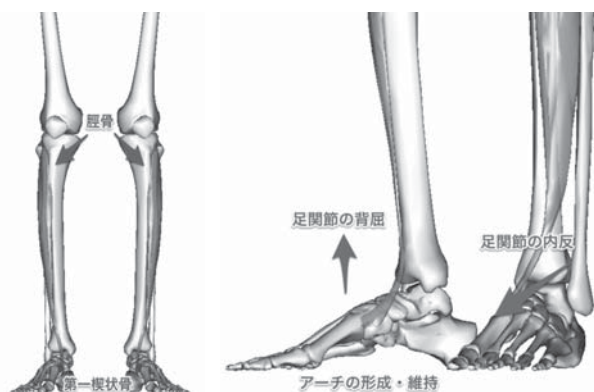
パワーポジション⇒ファーストステップ⇒スプリント⇒ブレーキング⇒カッティング (切り返し動作) ⇒リカバリーポジションからのクロスオーバーステップ⇒スプリント

この一連の動作をいくつかのパーツに分けてディベロップする。

Step1 パワーポジションからブレーキング

ブレーキングのキーポイントは前回もお話しましたように、「踵接地」です。

これにはまず、前脛骨筋を鍛えましょう。



前脛骨筋の作用は今では、ウォームアップの最初に組み込まれるケースがあるので、よくご存知だと思います。写真のように足首を背屈させた状態で、後ろ向きで歩行させます。シングルのサイドラインからサイドラインを2往復程度で良いでしょう。



また下の写真のように、ランジをするときにしっかりと足首を背屈させた状態で踵から接地し、角度を変えずに、太ももの付け根をしっかりと折り曲げて行くことにより、踏み込んだ足の裏全体が地面に接地するようにする。



このように普段の動作から、踵接地を意識付けしていく。

次にパワーポジションからスプリント+ブレーキングの繰り返しを行う。



最初はコーンを1つ進んで1つ戻り、次からは2つ進んで、1つ戻る動作を繰り返す。コーンは6～8セットし、感覚は2歩程度が良いでしょう。アップで行う場合は、刺激を入れるという意味で3～5セットで、十分でしょう。

まずは、切り返し動作などを入れずに前後の動きで、スプリントとブレーキング動作の習得を促します。

Step2 リカバリーポジションの姿勢作り

次に、切り返して戻る際のリカバリーポジションの開発です。

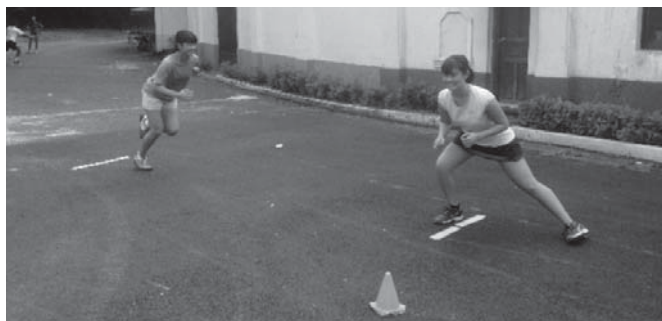


自分の重心を内側の脚の足首・膝・股関節に乗せる事を意識する。次に内側の脚を上げさせ、外側の脚は、脚の内側や内側のエッジに意識が行くようにする。それをふまえて下記の写真のように、脚を交互に入れ替えてリカバリーポジションの姿勢作りをする。



Step3 カutting動作からリカバリーポジションへ

下記の一連の動作を繰り返し行う。
 パワーポジションからスプリント
 ⇒ブレーキング（踵接地で減速）
 ⇒右足からカutting動作（切り返し）に入る
 ⇒リカバリーポジションで静止！



Step4 クロスオーバーステップの開発

まず知っておいて頂きたいのは、爆発的にクロスオーバーでリカバリーしたい時には、リカバリーポジションから内側の脚のトリプルエクステンションが、特に重要になってくるという事です。



ですから上の写真のように、リカバリーポジションから内側の脚をトリプルエクステンションをさせると同時に、腰を回旋させ逆の脚の膝を蹴り上げるようにします。このようにして、クロスオーバーステップの土台を作ります。



次に爆発的な力の発揮を開発するために、リカバリーポジションから内側の脚の伸展を意識して、できるだけ遠くにクロスオーバーステップを行います。着地後は、すぐにリカバリーポジションの姿勢を取り、繰り返し行います。サイドラインの往復を1セットとし、3～5セット行いましょう！



そして内側の脚の蹴りを意識して、クロスオーバーだけでコーンエクステンションをします。つまりコーンを片手に先のコーンへ移動し、コーンの前でリカバリーポジションをとると同時に、コーンを置いてあるコーンと取り替え、また逆のコーンへと移動します。スピードトレーニングという目的であれば7～10秒が良いでしょう。常に低い姿勢で移動することを、プッシュしてください。

Step5 カutting動作からリカバリーポジションへ入り、そこからクロスオーバーステップを入れ、スプリント

最後にStep1-4を一連の動作として正しく再現できるかどうか試してみましょう！

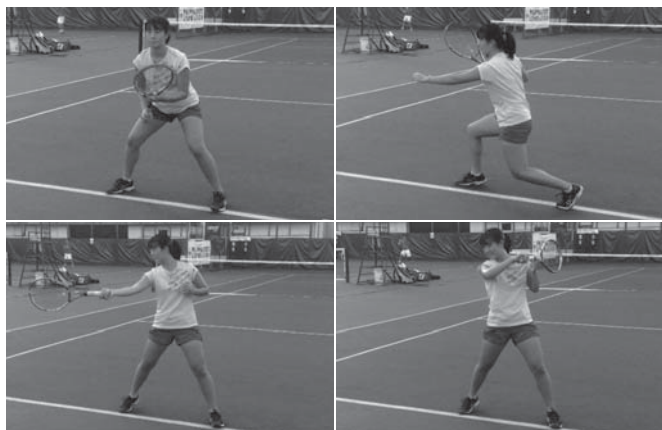


ディベロップ2 (D2) : ストロークのリズムの開発

前回もお話した、ストロークのリズムを開発する為の3つのポイント

1. 運動連鎖 (キネティックチェーン) 上からひねって下から戻す
2. スローイングモーション=
まるでラケットを放り投げるように=末端の加速
3. トリプルエクステンション (ローディングからアンローディングへ) =
爆発的力発揮

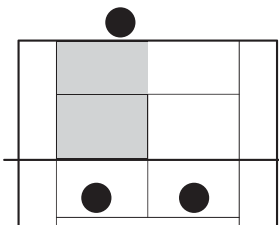
例1) 手出しノーバウンドヒット



写真のように正しい連鎖を繰り返し行い、リズムを自動化させるのが目的です。コーチは手前から、手で球を出しノーバウンドでヒットさせましょう!

今回は、コートのフェンスに向かって打たせています。6~8球が1セット「1、2」「1、2」や「グッ、パン」「グッ、パン」と声をかけて、リズムをテンポ良く作り上げ、自動化してあげてください。ミニテニス始める前に、このノーバウンドヒットで正しいリズムを作ることをお勧めします。

例2) ボレー vs ストローク



図のように2vs1でボレー対ストロークを行います。

- ▶1名の側はコート半面とし、プレーヤーの後ろにそれ以上下がらないようにラインを置く。
- ▶プレーヤーは打ち終わったら必ずクロスオーバーをできるだけ入れる。

目的 時間がなく、深いボールに対しての処理に適しているモーグルステップでのストロークのリズムの獲得。連続して正しく行えるようになることと、それだけヒップローテーションが素早く行えなくてはならず、体幹スピードの向上、それに伴ってスウィングスピードの向上につながり、深いボールに対し時間がなくても、アグレッシブに打てるようになる!

良い例)

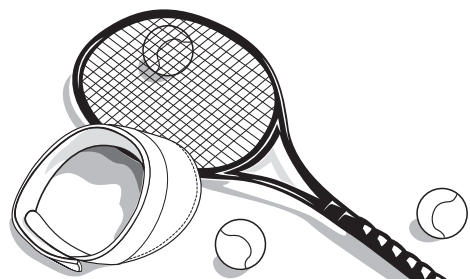


悪い例)



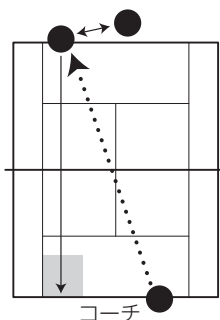
ここでは良い例)のように積極的にモーグルステップを使って行きましょう!

悪い例)のように、ターンをする際に、軸足を後ろに下げることによってターンしようとする、後ろ足荷重になって顎が上がり、フレイムショットが増えたり、ボールが浮き軽いボールになってしまいます。スプリットステップ後は、ひねりでターンをし、ボールに向かっていくことを心がけましょう!写真のようにラインを引いて、そこから下がらないようにすると、後ろ脚を引いて下がり打つことが減り、自然とモーグルステップを選ぶようになっていきます。



ディベロップ3 (D3) : フットワークスキルの開発=D1+D2

例) クロスからのコーチの球出しをストレートに打つ
この場合、パワーポジションからベースラインと並行にサイドに走り、ヒッティングをし、センターに戻るといった一連の動きになる。フットワークスキルとしては、パワーポジションから様々な方向へ走り出すためのファーストステップが入り、リカバリーの際には、基本的にリカバリーポジション→クロスオーバー→サイドステップ→パワーポジションの順番になる。(状況によって異なる)
この2点が付け加えられる。



左の図のように、特別ではないごく当たり前のドリルですが、ここでのポイントは、コーチがクロスから球をフィードし選手は1球交代ではなく3~5球打つ際に、必ず上記で説明したリカバリーをさせ、一連の動作を習得させることです。

そして必ずターゲットを設置し、そこを狙わせ精度を上げることを要求することによって、選手は自己の修正能力を上げ、適度なエネルギーの出し方を学習していくことができます。

その際のチェックポイント

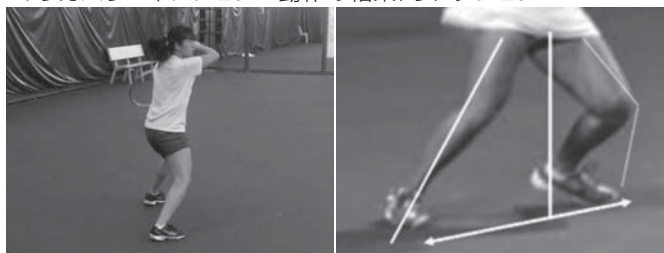
1. ファーストステップからローディング時の足の定位



2. ローディング時の上半身のひねりと、骨盤の回旋と、足首・膝・股関節の位置と安定

3. ローディング⇒アンローディング
(トリプルエクステンションと骨盤の回旋=捻り戻し)

4. リカバリーポジション=動作の結果、リアクション



これができている、もしくは、やろうとしているが…。

1. 軸足が前に出てきて、身体が早く開く=

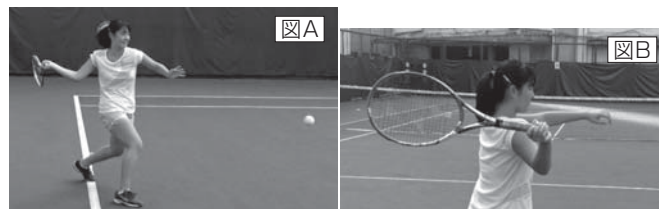
テイクバック完了時までの身体の向きと、つま先の向きがポイント！

- ①ファーストステップの足の定位=スプリット後、まず上半身をターンさせると腰（ヒップor骨盤）が吊られて回旋する。そこでファーストステップが腰幅もしくは、両脇の下に足が来るように矯正する。スプリットステップ後の捻る順番と足の定位がポイント



- ②ローディングの際に身体の向いている方向につま先が向いている状態で、素直にランジのように踵接地からローディングさせる。そこからのアンローディングとインパクトのタイミングが重要。多くがローディング時に軸足の外のエッジに荷重し、身体を開きながら打つ癖を持っている。写真のようにテイクバックが原因の事が多い。

↓つま先がすでに前を向き、軸足の外のエッジに荷重した状態



図Bのように、肩甲骨面より後ろで手首を背屈に入ってしまうと、肘や肩甲骨を内転の状態にロックしてしまうので、図Aのようにつま先を前に向け身体を開いていかないとインパクトできなくなってしまう。（下は良い例）

2. 大臀筋（お尻）のパワーが上手く打点に伝わらない。
= インパクトが弱い。

- ①身体をターンさせる時に軸足を後ろに引いてしまい、インパクトとお尻の位置が離れ過ぎている。
②先に前足に体重を乗せてしまってから打つ。テイクバック時に大殿筋に乗れない。
③ローディングからインパクトへのリズムが間延びする。つまり身体が伸び上がってからインパクトを迎える。ローディングから一気に軸足側の腰（右利きなら右腰）をインパクトに向かって下から突き上げるように使い、右腰でインパクトを支えるつもりで、「1、2」と短いリズムで！

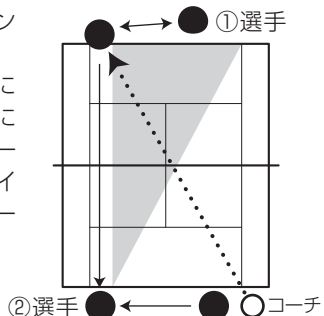
3. 姿勢が低く維持できずにぴょんぴょん跳ねる。もしくは伸び上がる。

パワーポジションからファーストステップ、スプリント…と一連の動作で、太ももの付け根が、抜けないように意識させる。ボレー対ストロークだと低いボールを多く打たなくてはならないので、意識させるには良い練習である。

ディベロップ3 (D3) : シチュエーション=状況設定での練習

「フォアハンドダウンザラインからのポイントプレー」

*コーチがクロスに選手①にフィードもしくは、選手②にクロスを持たせて、そのボールを選手①がダウンザラインへ打ってからのシチュエーション練習



男子 1.選手①は、FHでダウンザラインへ

2.選手②は、スライスでクロスへ

3.選手①それをFHで回り込んで⇒逆クロスかダウンザラインへ

4.そこからポイントスタート！

女子 1.選手①は、FHでダウンザラインへ

2.選手②は、ペースを落とす弾道の高いボールをクロスへ

3.選手①は、回り込みのFHかBHで、逆クロスへ

4.そこからポイントプレー

*10' -15' を2回ローテーション

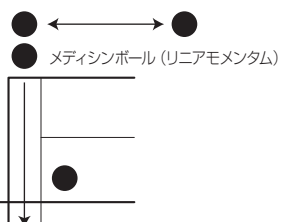
その他の関連するドリル紹介

通常グループでのジュニアレッスンが多いでしょうから、下記のようにステーションやアレーコートを使つてのドリルを紹介します。

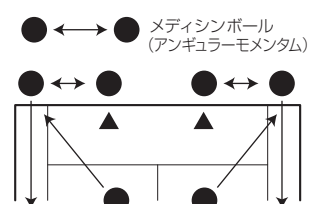
フットワークドリル (Footwork Drill) + メディシンボール

①は、まずバックコートでは、ペアでスクエアスタンスのみでメディシンボールスローを行い、他では、コーチのフィードによってFHとBHを交互にスクエアスタンスで打つというもの。ポイントは、打つスペースを、脚(足)を使って作る事と、しっかり軸足のお尻に乗ってから体重移動することです。

① FH/BH (6 balls) with スクエアスタンス



② FH/BH (6 balls) with オープンスタンス



① FHオープンスタンス
+BH回り込み (バックステップ)
交互の計6球

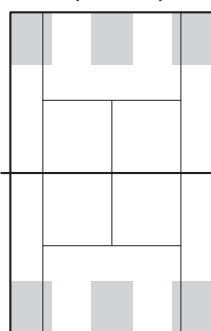
② FH回り込み (バックステップ)
+BHオープンスタンス
交互の計6球

②は、少し長い距離をFHとBHを交互に打つのですが、①ではBHのバックステップでの回り込みが入ります。少し長い距離を移動させることによって、歩幅が必要なパワフルでスピードのあるフットワークが求められ、あまりスモールステップを使わずに一発で正確にボールに入る定位が求められます。疲労してくると雑になりやすいので、正確な動作とアレーコートに正確に打つことをプッシュし続けてください。

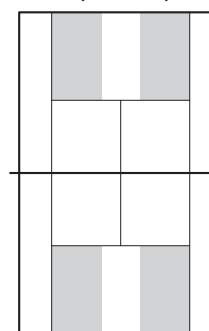
テンポラリー=30秒で、何球ラリーできるか?

プロの選手は、ベースラインからベースラインを0.73~0.85秒、120~150km/hのボールのスピードでプレーしているデータもありますが、ここでは、テンポが上がっても正確にボールコントロールできるかのドリルです。ラケットスピード=体幹のスピードですから、いかにボディスピードを上げて打っていただけるか、打点を落とさず、相手の球を利用してテンポよく打てるかが重要です。レベルによって、ボールの種類 (グリーンやオレンジ) を変えてみたり、ターゲットの大きさを変えて難易度をコントロールしてください。

15' ストレート (3 lines)



15' クロスコート (2 lines)



目標

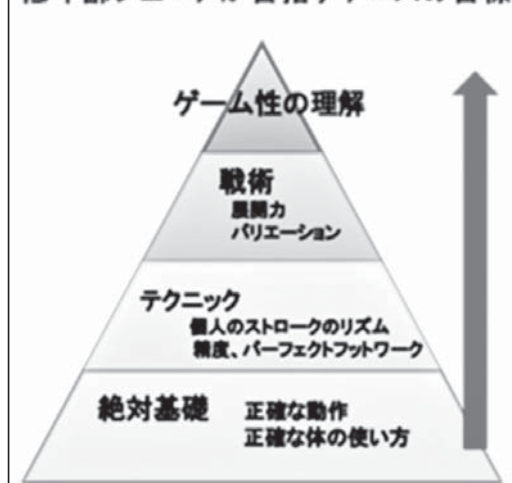
小学生
15~20球

中学生
20~25球

クロス
15~20球 (小、中)

最後に、今回も下記の図のように、フィジカルベースを作り上げていく中で、それをいかにテニス特有のテクニックに変換し、さらにハイパフォーマンスにチューンナップしていくかというコンセプトの発想を基に、トレーニングの組み立ての例を紹介しました。

低年齢ジュニアが目指すテニスの目標



テニステクニックの個性化
◆パワーへの移行
◆武器の開発
◆戦術との融合

テニス専門テクニックのパーフェクション
◆ディテールの開発
◆バリエーションの開発

基礎的な運動能力を、テニス専門テクニックへの変換
◆メディシンボール
◆ストロークのリズムを作る

コンディショニング
機能的な身体づくり=ファンクショナルトレーニング
◆ファンクションテスト
◆ウォームアップ
◆ストレッチトレーニング
◆ムーブメント



撮影協力

2014年ワールドジュニア女子
日本代表
宮本愛弓 (志津TC)
永田杏里 (チェリーTC)
ロケ地 フィリピン・マニラにて

次回は、テクニックを矯正するうえで、もう一つ掘り下げた観点からの技術の解説や、他のストロークの解説、機能的な身体の使い方を、どうゲームシチュエーションに組み入れていくかなど、いろいろな観点からテニスをお伝えしたいと思います。また、何か皆様の方からリクエストがありましたら、お知らせください。

2014年度

JPTAコンベンション 開催報告

開催日:11月24日(月・祝)～25日(火)

会場:1日目 東京マリオットホテル
「ゴテンヤマボールルーム」
2日目 高輪テニスセンター



今年度のコンベンションの特徴は、広報・企画推進部と資格認定・研修事業部が協力して準備委員会を設立し、コンベンションで「JPTAらしさ」を表現することをねらいとした点でした。未完成ではありましたが、その想いを込めた二日間は、約260名のご参加を頂き、皆様からご好評を頂くことができました。

また、パーティーには錦織圭・奈良くるみ両選手をはじめ、素晴らしい方々にご出席頂き、多くのメディアから注目される中、JPTAらしく華やかに盛り上がりました。これらもひとえに、関係各署の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝致しております。

ここに二日間の概要をご報告いたしますと共に、改めまして皆様に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

コンベンション委員会 委員長 金丸 由紀

【来年度開催地決定!!】

JPTAの拠点を構える御殿山の地で、今年度に引き続き、東京マリオットホテルを会場として開催をすることが決定いたしました!

開催日:2015年11月30日(月)-12月1日(火)

会場:東京マリオット / 高輪テニスセンター

11月24日(月・祝)

開会の辞 協会指針

10:00～10:10

理事長 佐藤 直子
公益社団法人 日本プロテニス協会

昨年よりヴィジョン会議を発足させ、プロフェッショナルなコーチ、プロフェッショナルな選手が集う団体として、プロフェッショナルな協会を目指して検討を進めております。それぞれプロフェッショナルとはどんなものかを考え、誇りを持ってようお互いに協力し合っ
てより良い協会にしていきたいと思います。



●JPTAの理念(定款より)

日本のプロテニス界を代表する団体として、

- (1) テニスのプロ指導者及び一般指導者の養成・認定と技術・指導方法に関する研修及び指導を行う。
- (2) プロテニスプレーヤー、ジュニア及び一般愛好者の育成・普及を図る。
- (3) テニス教育を通じて、国民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的とする。

●戦略的なポイント

1. 会員数の増加

- *ブランド力の強化
- *入会対象者の幅の拡大
- *若年層の会員・女性会員の増加

2. 財政の安定化

- *会員数の増加
- *テニス・スポーツ業界だけでなく、一般企業からの協賛を模索
- *収益事業の強化

3. コーチの教育と資格制度の促進

- *専門学校とのタイアップ
- *セカンドキャリア教育
- *DVD (USPTAなど) の利用
- *ITF "I coaching" のようなWEBの利用

4. 他団体との強力

- *USPTA (JPTAによる資格発行)
- *日本テニス連合会議
- *その他 ヨーロッパなど世界テニス主要団体との交流

5. 将来への展望

- 2020東京オリンピック&パラリンピックとその後-
- *将来のコーチの育成
- *JPTAの技術強化
- *車いすテニスの指導者の育成

協会の指針を皆様にお伝えしていく機会を増やし、日本プロテニス協会が皆様にとって、またテニス界にとってよりよい協会となるよう努力してまいります。

資質向上セミナー

10:10～12:00

講師:岩崎 由純 氏
日本ペップトーク普及協会 会長



『ペップトーク』

～短い、わかりやすい一言が、
人のやる気と可能性を引き出す～

■資質向上セミナーをうけて 東京地区長 渋谷 一義

アメリカのスポーツ現場で学んだ「勇気を与える感動のスピーチ」について、実話などを交えてお話をいただきました。

【内容】

1. ペップトーク

スポーツ選手を試合前に励ますのに使う「激励のショートスピーチ(前向きな背中の一押し)」ペップトークは、「短くて」「わかりやすく」「肯定的な言葉を使って」「魂を揺さぶる」「人をその気にさせる」をキーワードにした言葉がけが特徴。

2. ポジティブ語

「ポジティブな言葉がけ」。相手の方とイメージの共有をする言葉を選び、可能な限り肯定的な表現を使うことが大事。ネガティブな言葉は、ポジティブな言葉に置き換えるようにする。

3. ドリームサポーター

自分の子供・お客様・選手・仲間・友達・部下などの夢の実現や目標の達成を心から応援する人やチームのこと。

4. ラポール

コミュニケーションの土台となる健全な人間関係。
相手のことを受け止め、相手との間に信頼感を作り出すこと。
ペップトークを発揮するには、信頼関係の構築が必須。

【ポイント】

- ①挨拶をしっかりする
- ②褒める
- ③敬意を払う
- ④関心を持つ
- ⑤好意を示す
- ⑥賛同する
- ⑦共感する
- ⑧誠意を持って接する
- ⑨クイックレスポンス
- ⑩まめに接する

5. セルフペップトーク

自分自身に対して前向きな宣言の言葉。
意識的に良い言葉を選んで繰り返し言い続けることにより、意識や心のあり方を変えることができる。
自分の望む方向＝夢の実現に向かって進んでいく方法としてセルフペップトークがある。

【感想】

自分自身がお客様・スタッフのために、ドリームサポーターとなり、目標達成するために行動しないといけなさと感じました。

お客様への指導において出来ていない部分へのアドバイスが多くなりがち、スタッフに対しても出来ていないことへの指摘が無意識に多くなっているため、ネガティブな言葉でなくポジティブな言葉を使えるようにしたいと思います。岩崎先生の熱心さに引き込まれ、とても充実した時間を過ごすことが出来ました。



基調講演

13:00~15:00

講師：久世 由美子 氏
ロンドンオリンピック
日本代表コーチ / 競泳



『夢を夢で終わらせない競泳人生』

■基調講演をうけて 理事 白戸 仁

コンベンション1日目の午後のセッションに水泳の松田丈志選手の生涯コーチである久世 由美子氏をお迎えして、ご講演いただきました。

【内容】

中学校のプールを、ただビニールで覆うという簡素な環境での練習！

ルールは、環境の整った選手に勝つこと、折れない魂を持つこと！その気持ちを強く持った松田選手は着々と成績を残すようになった。この頃から挨拶、礼儀、返事を特に大切に指導してきた。

松田選手自身も、ウォーミングアップ、クーリングダウンを人の倍ほど行い、それが故障をしない身体を作り上げた。

また、海外の有名なコーチに、予約がいっぱいで無理だと断られたにもかかわらず、行ってみなければわからない、行かなきゃ何も始まらない、というチャレンジ精神で押しかけ、その熱意に感動してコーチを引き受けてもらえたことも進歩に繋がった。

これからももう一度、二人でオリンピックでメダルを取れるように頑張ると決めた。

【感想】

私自身、久世さんの話を聞いて、環境が悪い中で頑張ってきた姿を思い、日本人が、アメリカやスペインと違い環境があまり良くない日本でテニスをやっていく中で、環境が悪いからと言い訳にすることがありますが、そんなことではいけないとつくづく感じました。

また、松田選手のように故障の無い体がどれほど大切かをも感じていますが、プロの選手として生きていくには、積み重ねが重要だと本当に感じました。

私が教えているジュニア、プロの皆にも伝えていきたいと思えます。

私もコーチとしてメダリストを育てたい気持ちはずっと持っていますが、本当に為になるお話でした。

久世様ありがとうございました。



ゲスト講演

15:15~16:15

講師：Tom McGraw 氏
(トム・マッグロー)
米国プロテニス協会 会長



『USPTAの戦略』

～5つの柱～

■記録 JPTA事務局

1) 財政的な安定

2009年の不況以来赤字が続いていたが2013年に黒字に転換することができた。2番目に大きな収益源である契約企業からの収益で大きなボーナスを得ることができたこと、新たなCEOをスカウトし、経費削減、所有ビルの賃料収入増に努力したことなどが実った。

2) 会員数の増加—今後3年間で毎年5%

会員も高齢化が進んでいるが、今年は10%以上の増加率で大変満足している。退会・休会者の復帰も増え、テスト申込者は昨年に比べ37%も増えている。大事なことは会員の特典をどうやって増やすのかということ。

3) プロテニスコーチの教育、認定システムの強化・・・今年1月から

今年の初めから新しい会員制度をスタートさせた。今後2年半でコーチ達が勉強できるシステムを作り上げることが私達の最大の使命である。特に大切なのはテニスビジネスに関する理解を深めることだ。

4) 協力関係にある諸団体・企業とのパートナーシップ強化

テニス業界に限らず、様々な外部団体と交流を深めている。USTAともより強い関係が持てるように働きかけを行っている。この夏には共同でTENNIS TEACHERS CONFERENCEを行い、この数年間で最大のテニスイベントとなった。

5) 世代、人種を超えた、より多様で包括的な団体

アメリカではスペイン語圏の方が増えているが、ホームページをスペイン語でも見られるようにした。他の言語にも対応していきたい。



*** 今後のポイント ***

30歳以下の方達に会員になっていただき、協会の中心として活躍してもらいたい。各委員会に最低一人は30歳以下の会員を選ばなければいけないこととした。また、若い会員の負担を考慮し、2015年から会費を年4回の分割払い可能とする。

*** 最後 に ***

現在はUSPTAにとって大変良い状況になってきている。将来に対しても明るい見通しを持っている。

JPTAは同じ使命を担っている団体であり大切なパートナーであるので、より密な関係を築き、お互いにより良い方向に進めるように努力していきたい。

【契約更改調印式】

JPTAとUSPTAの強い絆を確認し、お互いの協力関係のもとに明るい未来を築くべく、新たな契約書の調印式が行われました。



特別講演

16:30~17:30

講師：森 章氏
森トラスト株式会社
代表取締役社長

『森トラストの会社経営と日本文化論』

■ 記録 理事 千野 時晴

日本の宗教文化 / 日本の文化論

日本の神道は、山や川などの自然や自然現象を敬い、それらに神を見いだす多神教で、日本人の精神の根底にあり、日本文化を形成しているものである。

日本人や日本文化の特徴は、神道、仏教、儒教が混在していることで、また宗教、人種、言語における問題がない独特かつ独自の文化といえる。

1920年、ウィンブルドン大会において、清水善造氏は転倒したW.T.チルデンにゆったりした返球をした。これは、「スポーツマンの精神」と、日本人独特の精神論である「武士道精神」があることを示し、日本文化にはこれがいまだ強く残っている。

日本人は、チームプレーには向いているが、個人プレーには向いていないと思われるのはファイティングスピリットの欠落ともとらえられる。

グローバル社会において、勝ち抜く為には、ファイティングスピリットが重要

世界のランキング制の中で戦う錦織選手の経済効果は、500億円（全米優勝なら1,000億円）。

世界で勝つには、本人の才能、やる気、環境、指導論などを加勢する為に、支援が必要

錦織選手の活躍を機にJPTAは、そういった支援を増やせるよう最大限に活動し、底辺を広げていくことが重要。

森トラストの会社経営 トラスト＝信託

社会に役に立つ仕事をし、良い街づくり、社会貢献をする企業であることを本望として活動している。

企業を持続させるには、

最終責任者としての責任、舵取りが重要＝時代認識

時代認識 ⇒ 予知能力が大切 ⇒ 錦織選手は予知能力が天才的



短期、中期、長期的に対社会を認識することが会社の成長に繋がる「リスクをとらないリスク」が大きいという思考が増えている中、従来型のシステムではなく、消費税を上げるよりも構造改革をしていかなければならない。

スポーツも経営もグローバル社会での思考が必要。

活性化するためには、「人・もの・金」が必要

現在の日本は、綺麗な空気、親切、清潔、安全、食べ物が美味しいという文化を世界的に認められ、外国人観光客を誘致しやすい状況にある（オリンピック）。

日本は、環境問題へのきめ細かい工夫、技術には優れている。大きな理由として

①昔から技術者を大切にする素晴らしい文化があり、技術開発力に優れている。

②先進な技術を取り入れて、物づくりをする、「創意工夫」に長けている。

日本流 ⇒ 明治維新より西洋の文化を取り入れ融合する力



グローバル社会では、全てに対してもっとスピードアップしなければならない。

「日本人の優しさ」を活用し、将棋で言う使い捨てのない思考で挑んでいくべきである。



【 JPTA公認企業展示ブース 】

コンベンションでは、公認企業各社にご協力いただき展示スペースを設けております。

ヨネックス株式会社

ブリヂストンスポーツ株式会社

株式会社ゴーセン

※敬称略



【 JPTA保険相談窓口 設置 】

【 公認・推薦・賛助企業 PR VTR 放映 】



【 2013年11月～2014年10月 協会活動VTR 放映 】

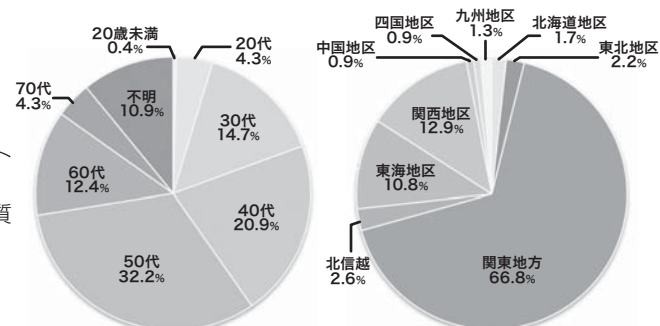


参加者情報

会場にて、コンベンション、資質向上セミナーの活動に関するアンケートを実施いたしました。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

皆様よりいただきましたご意見、ご要望は、コンベンション委員会、資質向上委員会の活動参考とさせていただきます。

アンケートをご希望の方は、お気軽に事務局までお問い合わせください。



18:00~20:00 懇親パーティー内

2013年度 公益社団法人 日本プロテニス協会 協会賞 授賞式

JPTAでは、毎年「協会賞」として、協会の活動のみならず、日本テニス界の発展に貢献された方々を表彰し、各賞をお贈りしています。会員の代表として各地区の地区長・幹事の皆様と理事から募った該当者の推薦案を、選考委員会にて検討して選出し、理事会の承認を経て決定されます。

本年度も、授賞式はコンベンションのパーティーにて行われました。

また今年は、司会進行としてTBSテレビ 石井 大裕アナウンサーにお越しいただき、パーティーを大いに盛り上げていただきました。



PLAYER OF THE YEAR

錦織 圭 選手

奈良 くるみ 選手



優秀コーチ賞

村上 武資 会員

柏谷 好希 会員



特別功労賞

平野 三樹 会員



COACH OF THE YEAR

中野 陽夫 会員



協力賞

澤田 誠 会員

古川 彰治 会員

高澤 克巳 会員

藤沼 敏則 会員

森トラスト株式会社
(御殿山 トラストタワー)



理事長賞

テニスの日有明イベントスタッフ

西川 和一 会員、高澤 克巳 会員、竹内 康 会員、
田中 克之 会員、小林 好人 会員、茨木 千恵子 会員、
杉山 茂樹 会員、若泉 久志 会員、柿田 茂 会員、
秋山 真一 会員、永井 勇一 会員、菅原 大輔 会員、
境 敬行 会員、小柴 鼓 会員、山崎 鉄也 会員、
小池 祐一 会員、室伏 邦人 様



PROFESSIONAL OF THE YEAR

松岡 修造 氏



BEST MANAGEMENT賞

渋谷 一義 会員



特別賞

株式会社GAORA

代表取締役社長 東 龍一郎 氏

★★ JPTA SPECIAL AWARD ★★

2014年特別表彰
錦織 圭 選手



【永年会員賞】 10年…54名 15年…19名 20年…33名 25年…53名
30年…45名 35年…8名 40年…3名 おめでとうございます。

11月25日(火)

オンコートセミナー

10:00~12:00

講師:金子 和宏 氏

(公財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー / 日本オリンピック委員会強化スタッフ



『テニスにおけるアスレティックトレーナーの関わり』

■オンコートセミナーをうけて 理事 荒井 英樹

テニスにおける体の機能性動作、トレーニング方法等、実技を主に行っていただきました。

〈内 容〉

サーブ、ストローク、ボレー等の各々の動きにおいて、テニスには色々な動きが必要になる。その動きに対して、骨、筋肉、関節を正しく機能させる事で、スピード、パワーを引き出す事が可能となる。また間違った動作(機能)をしているとスムーズにならないだけでなく怪我の原因となり、障害の発生率が高まる。

1. パフォーマンスピラミッド

良いパフォーマンスをするには、まず、コーディネーション(関節が正しく使えること、バランス能力が高い)能力を上げ、次にアジリティによりパワー、スピードを上げ、テニスの技術を習得することが重要。



【感想】

体を正しく機能させる為に必要なトレーニング、ストレッチなどを体の構造とあわせて、実技を用いて解りやすくお話ししました。我々プロコーチは、体の機能を理解した上で一つ一つのショット動作をコーチングしなければならないと再認識しました。とても勉強になり、楽しく聞くことができました。

2. 分離と共同

具体的に肩甲骨、股関節の可動域を上げることにより、可能性→安定性→動作パターンの習得が求められる。また、機能性動作のエラーから運動連鎖の破綻につながり怪我になる恐れがでてくる。

ファンクショナルムーブメントスクリーンというテストを行うことにより、動作のエラーを見つけ出し、改善のためのエクササイズを行っていくことで怪我の発生率を下げ、運動連鎖の高いテニス技術が習得できる。

実技(ストレッチ)例

- ・ディープスクワット
- ・ショルダーモビリティ
- ・アクティブストレートレッグレイズ
- ・シーテッドローテーション



オンコートセミナー

13:00~16:00

講師:増田 健太郎 氏

(公財)日本テニス協会 ナショナルチーム男子ヘッドコーチ/日本オリンピック委員会強化スタッフ

『日本男子の飛躍について』

デモンストレーター:山岸徹郎氏 / 難波隼平氏 / 羽生沢哲朗氏

■オンコートセミナーを受けて 理事 安川 裕也

現在ナショナルチームが行っている練習方法について、各ショット別にドリルの紹介をしていただきました。

「日本人はショットの練習をして打てるようになったらおしまいです。スペインでは、そこから精度を高めるため(鍊度を上げるため)練習を繰り返す」「特にスペインという環境で見てきたものを強化の基準にし、その他にも様々な国で見てきた練習方法を取り入れている」～講師談

〈内 容〉

①フィジカル

日本人は技術も高く良い試合をするが、最後は負けてしまう。後半、力が出し切れないことや体力不足で負けることがないレベルまでフィジカルを強化することが大切である。そのためには従来の練習量では足りない。

②スイングスピードの強化

相手のスピードを利用したカウンターではなく、常に振り抜いて主導権を握り相手にペースを渡さない。そのためにはいつも正確な打点で打つポジショニングが必要である。

【感想】

ラリーもドリルも上記三つのコンセプトにそって作られており、非常にシンプルでした。上達のために近道はなく圧倒的な練習量が必要だということを改めて実感しました。

最初に増田プロで自身が強調されていたとおり、ドリル自体は特別なものではありませんでした。しかし何よりも各ドリルの根底にあるコンセプトが明確でした。

ただ楽しいだけでなく、その先に上達できる実感を選手に感じさせることができるかどうかにはコーチとしての技量が必要になると感じさせられました。

③コースを変える技術

世界No.1からNo.200までボールのスピードはあまり変わらないが、違いはコントロール力にある。トップ選手のラリー展開の速さは尋常ではない。

単純なミスを繰り返さないように鍊度の向上に力を入れている。



【2014年度コンベンション準備委員会】

広報・企画推進事業部

部長 檜垣 泰章

資質向上委員会

委員長 中嶋 康博

資格認定・研修事業部

副部長 辻野 隆三

コンベンション委員会

委員長 金丸 由紀

部長 山本 育史

委員 荒井 英樹

委員 渋谷 一義

【選手紹介リレー】

ProPlayer
Interview
プロプレイヤー
インタビュー

「選手紹介」コーナーでは、往年の選手から若手選手まで出来るだけ多くの選手の皆さんにインタビューをさせていただき、プロとしての志や垣間見える素顔の部分をご紹介していきたいと思います。第9回目は「茶園鉄也プロ」です。

茶園鉄也プロにうかがいました

Q 01 テニスを始めたきっかけは何ですか？

両親がテニスをしていたことです。

Q 02 プロになる決意をした頃のこと、またそのきっかけは何でしょうか？

1993年全日本室内選手権で準優勝したことが、自信になりプロになりました。

Q 03 試合に臨むときの、こだわりや必ずしていたことはありますか？

縁起をかつぐと、きりがないのでありません。

Q 04 憧れの選手、目標にしている（していた）選手はどなたですか？

Todd Woodbridge (AUS)

Q 05 今までで一番に残っている試合はいつですか？それはどのようなことで印象深いのでしょうか？

2006年全日本の対 杉田選手との試合です。自分の理想に近いテニスができたと思います。

Q 06 今までのテニスで一番悔しい思いをしたことは何ですか？

準優勝が多かったことです。

Q 07 これまでテニスを通して得たことは何ですか。またそれが現在にも活かされていると感じられることを教えてください。

いろいろな国に遠征し、いろいろな人と交流することにより、いろいろな考え方があると感じました。その事から1つの考え方に固執しなくなりました。

Q 08 自己分析された場合、ご自身はどんなタイプのプレイヤーでしたか？

忍耐強く、臨機応変に対応できる選手だったと思います。

Q 09 現役当時のご自身を教えると仮定します。どのようなことに気をつけて指導したいと思いますか？

短所を克服するより、長所をより強いものにすることです。

Q 10 現役当時、コーチはどのような存在でしたか？

不安や迷いを共有してくれる存在でした。

Q 11 現在、コーチはどうあるべきだとお考えですか？

選手の成長と方向性を少し手助けする存在。

プロフィール

茶園 鉄也 (ちゃえん てつや)

- 生年月日: 1973年11月5日
- 出身地: 大阪府高槻市
- プロ転向: 1993年 (19歳)
- 所属: 茶園テニスプランニング
- テニスを始めた年齢: 11才

< 主な戦績 >

- 1990年・1991年 全日本ジュニアテニス選手権 シングルス準優勝
- 1992年 全日本学生室内選手権 シングルス準優勝
- 1993年 全日本室内選手権 シングルス準優勝
- 1998年 全日本選手権 ダブルス準優勝
- 2003年・2004年 毎日テニス選手権 シングルス優勝
- 2006年 甲府国際オープン シングルス準優勝
メガロス東京国際オープン シングルス準優勝
- 2007年 亜細亜大学国際オープンテニス シングルス準優勝
- 全日本テニス選手権 ベスト8 (1993/95/98, 2004/05/06)
- 全日本テニス選手権 19年連続出場の日本記録を持つ



Q 12 最近の活動についてご紹介ください。

主に選手のツアー帯同と練習です。

Q 13 最近の様々な活動の中で、特に印象深い出来事や特に感じられていることは何ですか？

アジア人の活躍です。選手はもちろんですが、ツアーではたくさんのコーチ、トレーナーが活躍しています。

Q 14 オフの過ごし方について、今、最も興味のあることやハマっていることは何ですか？

オフはゴルフです。

Q 15 好きな食べ物は何ですか？

実家のカレーライス

Q 16 この世で一番苦手なもの何ですか？

ダイエット

Q 17 好きな言葉、座右の銘を教えてください。

「継続は力なり」

Q 18 茶園鉄也プロにとって、テニスとは？

修行ですかね？ 日々、試行錯誤です。

Q 19 プロを目指すジュニアたちに伝えたいこと、アドバイスをお願いします。

楽しいことよりも辛いことの方が多いと思います。でも続けることで何かが生まれたり、気付いたりできると思います。一生懸命頑張ってください！

Q 20 最後に、JPTA会員にメッセージをお願いします。

日々変わっていくもの、変わらないものがあり、テニスの普及、伝えることは難しいのですが、それぞれの立場で前を向いて一緒に進んでいきましょう。



特別企画

Baby Steps

作者

勝木光先生に聞く!

JPTA NEWSでは、今回、2014年度「テニスの日」のメインキャラクターである『ベビーステップ』(Baby steps)の作者、勝木光先生にインタビューをさせていただくこととなりました。

執筆活動でお忙しいなか、直接お会いすることは叶いませんでしたが、インタビュー形式のQ&Aに快く応じていただきましたので、勝木先生とテニスのこと、そして『ベビーステップ』の話など、皆様にご紹介いたします。



— 勝木光先生におうかがいしました —

Q1 勝木先生はいつ頃から漫画家を志したのですか。また、きっかけは？

中学2年生の時です。クラスで漫画の回し読みが流行っていて、自分もノートに描いた漫画を回していたのですが、「ノートじゃ読んでもらえる人数に限りがある、たくさんの人に読んでもらえる単行本を出したい」と思ったためです。

Q2 勝木先生が好きな(好きだった)または、憧れの漫画(家)はどなたですか。

たくさんすぎて挙げられません。

Q3 テニスを始められたのはいつ頃ですか？また最近ではテニスをされていますか？

中学1年生から、地元のスクールに通い始めました。最近ではなかなか時間が取れませんが、出来る時にはやっています。

Q4 テニスのどのようなところに惹かれているのでしょうか。

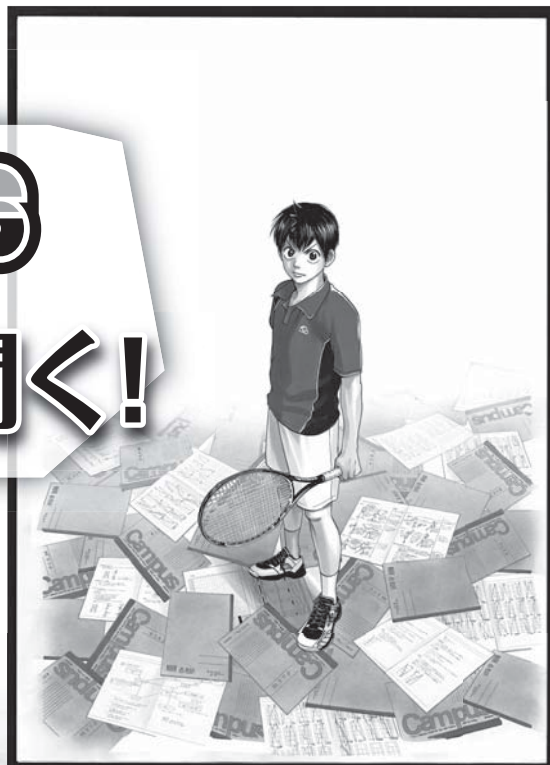
初めてテニスをした時、ただボールをラケットで打つだけで楽しいところに惹かれました。

Q5 勝木先生にとって、好きな(好きだった)選手や憧れの選手はどなたですか。

最初の憧れは、自分がテニスを始めた時に一番強かったレイトン・ヒューイト選手です。現役選手では、背が低いのに頑張っているダビド・フェレル選手が好きです。いつも試合が盛り上がるので、観ていると相手の選手も応援したくなります。

Q6 最近で印象に残っている試合は。

2014年全米オープン錦織圭選手vsノバク・ジョコビッチ選手です。



「テニスの日」オリジナルポスター

Q7 今回のテニス界について、思っていることは何でしょうか。
もっと手軽に多くの人がテニスをできるようになればいいな、と思います。

Q8 テニス以外で好きなスポーツ、気になっているスポーツはありますか。
特にこれというものはありません。オリンピックやW杯は見ます。



ー ベイビーステップについて ー

Q9 ベイビーステップを描くきっかけを教えてください。
構想はいつ頃からあったのでしょうか。

自宅の近所にジュニア選手がいたからです。取材を始めてから具体的に考え始めました。

Q10 描くにあたって、最も苦労していること、また逆に楽しいことを教えてください。

テニスの試合は省略できることが少ないので、決まったページ数に収めるのにいつも苦労しています。楽しいのは、取材で色々な所に行けたり色々な人に会えたりすることです。

Q11 とても緻密な取材を多方面で行っていらっしゃると思いますが、取材で見て、印象的だったことは何でしょうか。

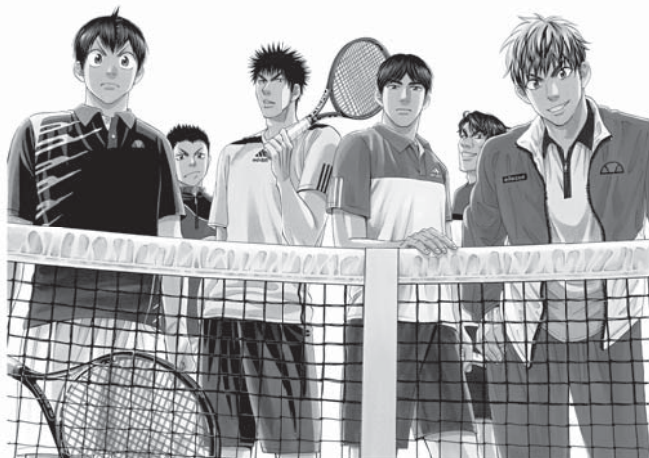
取材で会う人達がみなさん親切で協力的なことです。

Q12 登場人物の池爽児は、錦織選手がモデルとの噂になっていますが、エーちゃん、なっちゃんやその他のキャラクターについて、モデルがいるのでしょうか？

全員どこかしら、知っている誰かをモデルにしていることが多いです。

Q13 どのキャラクターにも思い入れはありだと思いますが、エーちゃん、なっちゃん以外で、勝木先生が一番お気に入りのキャラクターは？
(そのキャラクターのどんなところが気に入っていますか。)

見た目がゴツくて描くのが楽しい荒谷と、丸尾にいちいつつかってくる神田です。



Q14 読者の方からのファンレターも多いかと思いますが、読者に人気のキャラクターは。

丸尾とナツが人気だと聞いています。

Q15 テレビアニメ化されることが決まった時のお気持ちを教えてください。また、アニメを見てキャラクターが動き、話していることについてどう思われましたか？

決まった時はすごく嬉しかったです。仕上がったアニメを見た時はすこし不思議な気持ちでした。

Q16 今後の執筆活動について。方向性や構想などお伺いできますでしょうか。

様々な方向性を構想中です。今後とも『ベイビーステップ』をよろしくお願い致します。

Q17 日本プロテニス協会の会員へ一言お願いいたします。

『ベイビーステップ』の主人公・丸尾もプロテニス選手を目指しています。もしプロになった暁には、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



かつき ひかる
**勝木光先生
プロフィール**

・デビュー：2002年 ・血液型：O型 ・出身地：神奈川県
・講談社「週刊少年マガジン」2007年第46号より『ベイビーステップ』連載開始。
原作コミックス、ただいま33巻好評発売中！
・テレビアニメ（NHK-Eテレ） 2014年4月～9月放送。
2015年春、第2シリーズが放送決定。

2014年「テニスの日」活動報告書



9.23は
テニスの日



『100万人ボレーボレー』 2014年：100,785人参加!!

全国統一企画として奨励してきましたボレーボレー大会は、今年『10周年』を迎えました。これを機に、名称も「100万人ボレーボレー」に変更し、開催する事としました。

昨年は念願の『10万人』を達成し、今年は「15万人」を目指しました。今年の全国での参加者数は12/3現在の報告実績で「100,785人」となり、今年も『10万人』を記録する事が出来ました。

- 実施登録箇所数 : 377所
- 10分間続いたペア : 『達人』認定 (335ペア)
- 5分間続いたペア : 『五段』認定 (449ペア)
- 3分間続いたペア : 『三段』認定 (494ペア)

個別イベント

昨年と同数の476ヶ所のテニススクール、テニスクラブ、テニス団体がイベント開催登録をしてくださいました。ご協力頂きましたクラブ・スクールの皆様に厚く御礼申し上げます。

開催登録箇所数 : 476ヶ所

共同イベント

全国の都道府県テニス協会を中心に、テニスの日構成団体の各支部が協力して開催。今年も全国47都道府県すべてで開催されました。「100万人ボレーボレー」「キッズテニスの奨励(特にPLAY+STAYの実施)」「ほんのちょっとのエコ活動」を推奨事業としました。また、全国8箇所には協議会からプロ選手・著名コーチを派遣。指導にあたって頂き、大好評を得ました。

共同イベント開催 : 全国47都道府県テニス協会

■共同イベントへの協議会派遣プロコーチ (敬称略)

9/ 6(土) 石川: 吉田 将彦(S級)	9/23(火・祝) 岩手: 神谷 勝則(S級)
9/21(日) 宮城: 山本 育史(S級)	9/23(火・祝) 福井: 米村 知子
9/21(日) 茨城: 神谷 勝則(S級)	9/23(火・祝) 富山: 本村 剛一
9/21(日) 三重: 岩淵 聡	9/23(火・祝) 大分: 平木 理花

個別イベント表彰

全国からアイデアや頑張りを募集。たくさんのご応募を頂き、選考の結果、2014年度各賞は次の事業所に決定しました。各賞の詳細につきましてはテニスの日HPをご覧ください。

◇ボレーボレー10周年特別大賞

・ネオインドアテニススクール西新井

◇ベイビーステップ賞

・株式会社 スポーツクリエイト

◇個別イベント大賞

・インドアテニスセンター ウイング札幌ウエスト校

◇個別イベント特別賞

・テニスポート波崎 (VIPTOPグループ波崎事業所)
・メガロスインドアテニススクール全店 (全国10店舗)
・ウイングショットあすと長町校
・(有)コスモテニスカレッジ (東京グリーンヒルズ会場)

◇ボレーボレー特別賞

・TOPインドアステージ相模大野
・TOPインドアステージ氷川台
・株式会社ツカダブランニング

◇テニスの日大賞

・香川でテニス! FSP (ファーストショットプロジェクト)

◇テニスの日特別賞

・柏の葉インドアテニススクール
・福井市美山テニスクラブ

◇Tennis Express特別賞

・Kポイント・テニスコミュなんじゃもんじゃ

◇アイデア賞

・パブリックテニス小倉

◇タイアップ賞

・アルドルテニスステージ 幕張新都心校
・TOPインドアステージ津田沼

◇個別イベント新人賞

・千歳テニス協会
・ITCうつぼテニススクール
・コスモテニスカレッジ
・セルティステニススクール



有明メインイベント

今年もキッズ/ジュニアにはPLAY+STAYを積極的に組み入れ、「スポンジ・レッド・オレンジ・グリーン・イエロー」の5種類のボールが一斉に飛び交うイベントを企画。団体の枠を超えて運営にあたりました。他にも、『プロに挑戦!』や『プロコーチとラリー』など様々なイベントを実施。また『ベイビーステップとのコラボ企画』や『スタンプラリー』などを行いました。錦織選手の活躍もあり、多くのテニスファンで賑わいました。

■協力プロ選手・著名コーチ [22名] (敬称略)

松岡 修造、坂井 利郎、中嶋 康博、倉光 哲、白戸 仁、塩金 泰弘、米沢 徹、山本 育史、LARRY DUPLICHE、渡邊 大輔、坂井 利彰、坂本 正秀、佐藤 直子、兼城 悦子、柳 昌子、溝口 美貴、望月 寛子、手塚 玲美、山岸 依子、安宅 美弥子、黒田 祐加、菅野 知子

企画広報活動

■ポスター・缶バッジ 製作

漫画「ベイビーステップ」のアニメ化放映に伴い、作者描き下ろしデザインによるオリジナルのポスター・缶バッジを製作。

■ベイビーステップとのコラボ企画

■「テニスの日」のぼり・横断幕 配布

■缶バッジ応募券プレゼント



全国のイベント風景の写真やボレーボレー達成者リストなどはテニスの日WEBサイトをご覧ください。

<http://www.tennisday.jp>



『テニスの日』有明メインイベントでは、今回17名の会員の方にJPTAボランティアスタッフとしてご協力をいただきました。次回も募集いたしますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

『テニスの日』有明メインイベントに参加して ミズノテニススクール坂戸 島浦 亮

9/23秋分の日にはテニスの日。テニスの普及、発展を目的として1998年に制定されました。テニスの関係者や愛好家にとっては特別な日です。

この日を迎える約2週間前に錦織選手が全米オープンシングルスで準優勝という快挙を成し遂げました。日本中が沸き上がり、テニスというスポーツに注目が集まっていた中でのテニスの日有明イベントでした。

朝クラブハウスに集合し、自己紹介、ミーティング、記念撮影、コート割りと役割を確認し、いざコートへ。さあレッスンスタートです。

午前はPLAY+STAYで60分のJrレッスンを2コマ行いました。参加人数は昨年より多い模様です。これも錦織選手の効果でしょうか。私は小学1年生のレッドボールクラスを担当しました。全体のレッスン内容の指示を出してくれるコーチに従いながらオリジナルのレッスンを組みます。10名ほどのJrのレベルを考慮しつつ、盛り上げ、尚且つ楽しいレッスンにしたいと思っています。幸いにもテニス経験者が多く、Jrたちと楽しくテニスが出来ました。とにかくJrのパワーは凄すぎます。圧倒されつつあっという間に2コマのレッスンが終了しました。

PLAY+STAYで大切なことは“教えずぎないこと”。ミーティングで指示が出ました。つい手とり足とり指導したくなりがちですが、教え過ぎずいかにして上達に繋げるのか。そこにはメニューの工夫であったり、少ないアドバイスで分かりやすい言葉選びであったり。これはJrの指導に限らずコーチとしての永遠のテーマだと思いました。



お昼休みを挟み午後はJPTAプロコーチによる60分2コマのノーマルボールでのJrレッスンです。アメリカ出身のラリー・デュブレシコーチのアシスタントとなりレッスンを一緒にさせて頂きました。テニスを通じれば国境はありません。とにかく熱いラリーコーチ。言葉は片言ですがジェスチャーを交えてJrに熱い思いをぶつけていきます。

「とにかく攻めること。ボレーに行こう」「ストロークは体重を乗せて打とう」「君たちが上達したいという熱いハートが一番大切」と…。

ボレーを中心にレッスンをしました。やはりあっという間に2コマが終わり、記念撮影をして解散となりました。

最後に、テニスの日のイベントに参加させて頂いて非常に濃密な1日を過ごせました。学ぶべきことが多かったです。私自身31歳ですが同じく若いコーチには様々な事を吸収できるチャンスなので、積極的な参加をお薦めします。学んだ事をスクールに持ち帰り、活かしていく。この繰り返しで更なるテニス界の発展、更には盛り上がりにつながると思います。また来年も参加させて頂こうと思います。

JPTA能登国際女子オープンテニス 2014 開催報告

開催日：2014年8月30日(日)～9月7日(日)
会場：石川県能登町 藤波運動公園

JPTA能登国際女子オープンテニス2014は、テニスのまち能登町と石川県、そして北陸のテニス愛するすべての皆様のご協力のもと、本年度も無事終了することができました。

シングルスでは、2010年度優勝者タマリン・タナスガン選手が6-0、6-4でリー・ヤーシュン選手を破って優勝。若い選手達が大きな叫び声を上げながらカーブショットを打つ中、経験を活かしながら省エネ・理詰めで勝ち上がっていく姿を見るのは爽快でした。ダブルスでは、能登町にもファンが多い日本人選手のペア同士の戦いとなり、会場を大いに沸かせてくれる試合を見せてくれました。

本年度は、USオープン中の開催ということもあり、メディアの方々も多くご来場くださいました。また、能登町の学校がご協力くださり、授業の一環として200名以上の小中学生が観戦に来てくれました。

週末には、JPTA会員の吉田将彦コーチとちびっこイベントとしてPLAY+STAYを実施。能登町のスーパースター「のっとりん」も参加し、大変盛り上げてくれました。プロコーチレッスンは、藤井渉プロ、黒田祐加プロが講師を務めてくださいました。毎年、参加者の増加がみられ、テニスへの理解・興味を深めたい私達にとってとても嬉しい傾向です。



シングルス

優勝 タマリン・タナスガン(タイ)
準優勝 リー・ヤーシュン(中華台北)

ダブルス

優勝 澤柳 璃子(ミキハウス)・井上 雅(テニスラウンジ)
準優勝 宮村 美紀(フリー)・布目 千尋(北日本物産)

これからもよりよい大会になるよう新しいことに挑戦していきたいと思っております。会員の皆様も是非ご来場いただき、ご意見やご提案などいただけると幸いです。

JPTA能登国際女子オープンテニスが歴史あるトーナメントとして、能登の地に根付き、より多くの皆様に愛される大会となるよう、力を合わせて育てていきたいと思っております。

最後になりましたが、今年も大成功のうちに閉幕できたのも、ご協力いただきました皆様のお力添えがあってこそと、心より感謝申し上げます。

JPTA能登国際女子オープンテニス2014 大会会長 佐藤 直子
国際・国内大会委員会 委員長 辻野 隆三
トーナメントディレクター 樗木 聖

ジュニア育成 委員会より

JPTAジュニア育成・強化プログラム

公益社団法人日本プロテニス協会では、ニュージェネレーションテニス全国大会において優秀な成績を収めた選手の為に、一年間の育成・強化サポートプログラムを用意しています。

春、夏、秋に開催する育成・強化合宿、エリア別育成・強化の特別レッスンなどテーマを決めてプロコーチによる密度の高いレッスンが受講できます。また、夜には講義時間を設け、技術面だけでなくメンタル面でのサポートにも役立つ情報を提供しています。

平成27年度 ジュニア育成委員会 年間スケジュール (予定)

	日 程	会 場
第1回 育成・強化合宿	5月29日～31日	グリーンピア三木 (兵庫県)
第2回 育成・強化合宿	8月17日～20日	花川運動公園 (静岡県)
第3回 育成・強化合宿	11月20日～22日	シーガイアテニスアカデミー (宮崎県)

※日程や会場は変更となる場合がございますので予めご了承ください。

※詳細が決定次第、協会ホームページに掲載いたします。

	日 程
ロサンゼルス遠征	6月
ジュニアオレンジ遠征	12月
ニュージェネレーションテニス 全国大会	平成28年 2月

■ 第1回 育成・強化合宿&スプリングキャンプ

日程：平成26年5月30日～6月1日

場所：グリーンピア三木、ビーンズドーム (兵庫県)

参加スタッフ：山本育史、辻野隆三、茶園鉄也、清水俊輔、
太田耕造、山崎章、梶下欣昭 (敬称略)

参 加 人 数：41名

合 宿 テーマ：1人1人が強い気持ちを持ってコートの中で自分を表現しよう

2014年度第1回の育成強化合宿をグリーンピア三木、ビーンズドームで行いました。新しい育成強化メンバーも加わり新たな気持ちと、低学年が増えた中での合宿で不安も多くありましたが、辻野プロの統率と茶園プロ、今回から強化コーチになっていただきました清水プロの協力もあり、とても有意義な時間となりました。

初日にはボール出しドリルを中心に、打つボールの配給、それに伴ったフットワーク、コートでのポジショニングを意識して数多くのボールを打ちました。翌日のマッチ練習の中で少しでも生かしてもらえればと思うと、練習で行ったことを場面、場面で感じたり、気付いてくれる事を願いました。



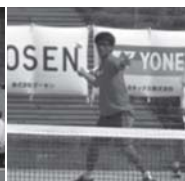
2日目はラリーの中でポイントを取るための場面と形を想定して行いました。攻撃側、守備側を明確にしてどのようなショットを選択するのか？どのように対応するのかをプロコーチの皆様にご指導いただきました。午後には2会場に分かれて連続で2セット、もしくは一人が合計で3セット以上できるように試合を組みました。

セット練習が初めての選手もいて多少のハプニングはありましたが、日々の練習での成果を発揮する為には多くのセット練習は欠かせないと思っています。



3日目には前日の試合で感じた修正点を、それぞれのコーチの視点でそれぞれのステージに合わせて行いました。内容としては、チャンスボールの見極め、攻撃なのか守りなのか？そのときのポジショニングは？低学年においてはネットプレーの必要性和ダブルス、ポーチなどを取り入れました。

回を重ねるごとにパワーアップし続けている育成強化合宿ではありますが、参加していただいている選手みんなが前進できるよう刺激を与え続けて行きたいと思っています。「参加して良かった」「何かが変わった」「意欲的になった」等、もっとはっきとした特徴のあるJPTAの合宿にしていきたいです。



■ 第2回 育成・強化合宿サマーキャンプ

日程：平成26年8月18日～8月21日

場所：花川運動公園（静岡県）

参加スタッフ：田村伸也、山本育史、渡辺功、渡辺力、
太田耕造、藤井渉、荒井英樹、山崎章、井上丈士、
三井勝彦、藤沼敏則、仲井間憲和、濱田洋史（敬称略）

参加人数：96名

合宿テーマ：技術、戦術を磨こう

昨年に引き続き今年度も浜松市の花川運動公園でサマーキャンプを行いました。4日間とも天候に恵まれ大きな怪我、熱中症などなく無事に終了できたことは、参加してくれた選手たち、コーチングスタッフの意識の高さに感謝で一杯です。

今回のキャンプには伊達公子プロをはじめ多くのプロ選手、ジュニア育成の指導経験豊富な藤井渉プロが参加してくれました。大きな声を張り上げ広い会場内を精力的に動いていただき、2日目の夜には講義のなかで練習、試合の中で考えることの大切さを話していただきました。

何よりも今回のサマーキャンプには100名近くの参加があり、小学1年生から中学3年生まで幅広い年齢層のなか毎日がハラハラ、



ドキドキの連続でしたが、高学年の選手たちが低学年の選手たちを積極的に引っ張ってくれました。合宿ならではの光景ですが日常ではなかなか体験のできないちょっとした自立心が芽生えたのではないかと思います。

秋にはオータムキャンプ、フロリダ遠征と続いていきますが、その瞬間だけの満足、刺激にならず高い意識を持って、毎日の練習の中で継続してくれることを望みます。



■ 第3回 育成・強化合宿オータムキャンプ

日程：平成26年11月21日～11月23日

場所：シーガイアテニスアカデミー（宮崎県）

参加スタッフ：田村伸也、山本育史、藤井渉、姫田幸洋、田所茉麻（敬称略）

参加人数：17名

合宿テーマ：ボールをとことん打って、自分を追い込んでみよう！
トップアスリートを診たことのあるトレーナーが参加し、トレーニング方法の伝授！



今回のオータムキャンプより新しい取り組みをさせていただきました。

一つ目としては2日間、トレーナーに参加していただきウォーミングUP、練習後のトレーニング、夜の講義と非常に内容の濃い時間となりました。

二つ目は、これまで全体で練習を行ってききましたが、今回のキャンプでは4～6人のグループを作り、半日各コーチによるテーマ別でみっちり指導ができたことです。

これまでは個々の選手を全体練習の中でしか指導することができていませんでしたが、この形ではコーチがじっくりと指導できるため非常に良かったと思います。

各コーチのテーマとしては、

藤井プロ：前後左右の動きの中でのショット
（正確性、アタック、限界まで）

田村プロ：オールランドのテクニク

山本プロ：徹底的にフォアハンド

姫田プロ：徹底的にバックハンド

今回はこのような形で進めさせていただきました。

藤井プロからは、もっともっと練習する時間を増やせるのでは？朝練、寝る前の素振り会など、トレーニングは日が落ちてからでもできるのでは？疲れて動けないぐらい徹底的に打ち込むのもキャンプなのではないかという意見もいただき、今後の検討としていきたいと思っています。

JPTAのキャンプに参加させていただくのは初めての試みでした。トレーナーによるトレーニング講座を設けたのは、今回が初めてのことでしたので、どんな内容のトレーニングや指導を求められているのか、迷いもありました。ただ今回キャンプ中の練習を見させてもらって、子供たちの反応を見て感じて点としては、理解するまでに時間がかかったとしても、今回のようにこういったトレーニングを受けるチャンスを作ってあげられる環境づくりが必要ではと感じました。早い段階でトレーニングを取り入れる事で成長の妨げになるのではといった懸念もありますが、今回行ったような自体重トレーニングや、体をうまく使っていきといった部分のトレーニングであれば低学年からどんどん取り入れていけるとさらに効率良く、テニスのスキルもアップしてくるのではと思います。

フットワークなど、もしもっと細かく教えていくという事になればコート別に少人数制で行っていく事もできます。基本的な知識（栄養面や運動面）も理解を深める事で怪我や病気をしない体づくりをしていけるとと思います。

トレーナー 田所 茉麻



このプログラムを支えていただいている、藤沼ジュニア育成委員長、田村育成強化コーチを始め、コーチングスタッフの皆様、素晴らしい環境を提供していただきましたシーガイアリゾート様、会場をご提供していただきました花川運動公園、グリーンピア三木様、ビーンズドーム様、遠方から参加してくれたジュニア、サポートをしてくださるご家族の皆様にご心より感謝いたします。ありがとうございました。

育成・普及事業部 副部長 山本 育史

ニュージェネレーションテニス 全国大会開催のご案内

ニュージェネレーション・スカウトキャラバンテニスとは
JPTAが全国展開で行うジュニア発掘キャラバンの名称です。

スカウトキャラバン全国大会は、全国のJPTA会員が開催する小学生（幼稚園年長も含む）なら誰でも参加可能な、地区選考会において、地区代表として選ばれた子供たちが出場する大会です。

本大会で優秀な成績を収めた4名の最優秀ジュニア選手には1年間のスカラシップを授与し、ジュニア育成のプロジェクトチームによって行われる育成サポートプログラムを用意しています。1年間を経て、将来性が期待されるメンバーにはさらに引き続き制度が適用されます。

第3回 JPTA JUNIOR TENNIS TOURNAMENTグリーンボール大会 U10 第1回 JPTA ALL JAPAN JUNIOR TENNIS TOURNAMENT U12・U14 第17回 ニュージェネレーションテニス・ジュニアスカウトキャラバン

日程：平成27年2月20日～2月22日

会場：北九州穴生ドーム、三萩野庭球場、桃園庭球場



JPTA スカラシップ システム (平成26年度実績)

一年間の育成・強化プログラムおよびメーカーサポートプログラムを授与いたしました。

ジュニア育成・強化プログラム

JPTAプロコーチによる一年間の総合指導を受講できます。

- テクニカルコーチング ●フィジカルコーチング
- メンタルトレーニング ●栄養管理・指導

メーカーサポートプログラム

JPTAスカラシップシステムとテニスメーカーによるサポートタイアップ。将来のスタープレイヤーを目指すジュニアたちへより良いテニス環境を提供いただいております。

- ヨネックス ●ブリヂストンスポーツ ●ゴーセン

スタッフ

ジュニア育成・強化プロジェクトチーム

- コーチングスタッフ：田村信也プロ、山本育史プロ、辻野隆三プロ、他
- ジュニアプロコーチスタッフ

海外遠征

ロサンゼルス遠征派遣

- 高学年の部の最優秀者
- トーナメントU13、U15優勝者

2014年度 ジュニアオレンジボウル 遠征報告書

日程：2014年12月1日(月)～23日(火)
場所：アメリカ フロリダ州 タンパ市・マイアミ市
参加者数：9名
スタッフ：辻野 隆三、藤沼 敏則
河野 良武、井上 真美、Antonio Bugge (敬称略)
報告：ジュニア育成委員会委員長 藤沼 敏則



遠征中の主なアクティビティ

- 1) Saddlebrook テニスプログラム参加
- 2) IMGアカデミー施設見学・Eddie Herr試合観戦
- 3) Casely International Championship 参戦
- 4) Junior Orange Bowl参戦
- 5) Blackman Tennis Academyにて対抗戦
- 6) 井上真美プロ・Antonio Buggeプロによる練習会



遠征スケジュール

日付	会場
12/1(月)	シカゴ経由でタンパ着、Saddlebrookへ
12/2(火)～5(金)	Saddlebrook テニスプログラム参加
12/6(土)	IMGアカデミー施設見学、 Eddie Herr試合観戦後マイアミへ移動
12/8(月)～13(金)	Casely International Championship参戦 Junior Orange Bowl予選チェックイン
12/14(日)～16(火)	Junior Orange Bowl予選 Junior Orange Bowl 本戦チェックイン
12/17(水)～19(金)	Junior Orange Bowl本戦及び試合観戦 井上真美プロ・Antonio Buggeプロの練習会
12/20(土)	Blackman Tennis Academy 対抗戦
12/21(日)	Junior Orange Bowl試合観戦

総 評

今回の遠征は、過去の遠征と違い大きく変更した点があります。それは1週間ほど前にフロリダ入りして、Saddlebrook テニスプログラムに参加し、しっかりと練習を行い時差による体調不良もきちんと整えてから、ジュニアオレンジボウルに臨むという点です。今回の遠征には、男子7名(小5～中2)、女子2名(中1) 合計9名が参加しました。年々レベルが上がってきているこの世界大会で本戦に上がるのは難しい事でしたが、この遠征により、子供たちは多くの経験ができたのではないかと感じました。

マイアミへ移動してからも、ローカル大会のCasely International Championshipに参戦し、Blackman Tennis Academyと対抗戦をおこない、ジュニアオレンジボウル予選前には辻野プロ、河野コーチ、井上真美プロ、Antonio Buggeプロも合流し、子供達のサポートを行いました。なかでも今回参加した三井駿介くんは昨年の全国小学生テニス選手権と全日本ジュニアテニス選手権U12のチャンピオンで、今回のジュニアオレンジボウル本戦では、第1シードを獲得しました。今大会は2RでEddie Herr B4になったUSA 4位Brachman Spencer選手に負けてしまいましたが、フィードインコンソレーションでは、6RでEddie Herr 優勝の韓国No.1 Jungwon Parkに勝ち、B16に入る素晴らしい成績を収めました。今回参加した子供たちが帰国し、この遠征で得たものをしっかりと継続してやり続ける事を願ってやみません。

最後になりますが、今回の遠征でサポートいただきました、全日本空輸株式会社様・Shula's Hotel & Athletic様・株式会社H.I.S様・Martin Blackman氏・河野良武コーチ・井上真美プロ・Antonio Buggeプロ・現地にてお世話になりましたすべての皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。



ジュニア育成委員会 活動報告

「親子で楽しむテニス教室 PLAY+STAY」

【開催日】平成26年10月26日(日)
【用 件】「晴海 晴っ呼 秋まつり2014」内イベント
【会 場】晴海トリトンスクエア 2F グランドロビー

10月26日に晴海トリトンスクエアの「2014晴海晴っ呼秋祭り」にて、PLAY+STAYイベント「親子で楽しむテニス教室」を開催いたしました。

会場周辺はタワーマンションが立ち並び、開発と人口増加が進む地区であり、事前に区民への告知がなされていたこと、また商業施設内でのイベントということもあって人の流れは絶えず、当日は予想以上の参加者で大変な賑わいとなりました。開始前から参加希望者が並び、イベント中は常時長蛇の列をつくっていましたが、そのなかでご参加いただいた方々から喜んでいただける結果となりました。

参加人数は延べ人数で400名近くにのぼり、たくさんの方々にテニスを体験いただき、我々の根底である普及活動の一役に、微力ではありますが貢献できたのではないかと思います。



報告：ジュニア育成委員会 委員
山崎 章



参加者からは、「楽しかった!」「またしてみたい!」「テニスをやってみたかった!」「昔を思い出した!」などたくさんの感想をいただき、まだまだテニスは秘めたる可能性を持っていると実感した次第です。全国でこのようなイベントが規模に関わらず、たくさん開催される事を切に願っています。

最後に、このイベントの為に尽力いただきました全ての関係者、会員の皆様はこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

第4回 ブラッシュアップ勉強会 in 東京 報告書

【みんなでつっこんで学びあおう!!】

資格認定講習委員会副委員長 八島正幸

【開催日】平成26年10月26日、27日

【会場】昭和の森テニスコート

【参加人数】27名(会員17名、一般10名)

【講師/敬称略】白戸仁、山口美佐、山本育史、八島正幸



10/26 (日)

13:00~14:00 全員で練習

※プロコーチらしい「フォーム」「ショットの正確さ・威力」を意識して!!上手くなり、強くなろうと努力すること、この仕事は「その姿に人はついてくる」ことを忘れずに!!

14:00~17:00 講師：白戸仁

ジュニアだけではなく一般、そして60歳以上の方達も同じ教え方で上手くまた強くなるレッスンを紹介

心・技・体をバランスよく体系的かつ理論的に講義

④考え方

- ☐間違ったインフォメーションを渡すと直すのに時間がかかりコーチが苦労する
- ☐間違っている練習量でカバーできるが「本当に試合で緊張した時」に技術のミスは出る
- ☐大きな筋肉を使っていると緊張しても使いづらくなれないが、小さな筋肉は緊張すると使いづらくなる事を忘れないように!
- ☐昔の常識は通用しない
道具の進化、バイオメカニクスの研究等で変わってきている
- ☐試合は物理と確率である

⑤技術編の解説

【ボレー編】

- ☐「アンダースピン」→「ドロップショット」→「ボレー」→「スマッシュ」→「サーブ」
スライスからスピンまでの変遷を紹介
- ☐技術力が上れば、簡単にポイントが取れる

【サーブ編】

- ☐サーブもボレーとして教えている
右側スライスをスライスで上向きに打つ→後ろスピン

【フォアハンドストローク編】

- ☐「トップスピンのロブ」「ショートクロス」「ストレートスピン」の打ち方の紹介
- ☐最近の錦織選手はクロスにしっかり打てるようになった為ストロークが楽に決まる

【バックハンドストローク編】

- ☐左手中心と右手中心の回転の打ち方を紹介
理屈と実際は違う
コーチは自分が出来るように
コーチはしっかり学んで引き出しを多くする
生徒のクセをすぐに直し、良いコーチと呼ばれるように



17:15~19:15 講師：山口 美佐

栄養士としてだけではなく、ご自身の子供がジュニア時代に選手生活を過ごした事をはじめ、テニス界特有の話を交えての講義

- ☐サポート選手の活躍
- ☐テニス栄養とは
 - ・栄養とは…食べたものにより筋肉や血液・皮膚などの細胞が作られていく仕組み
 - ・強い筋肉・きれいな肌・強靱な骨格をつくるには
 - ・食べ物でコントロール出来る
- ☐疲労を最小限にするには
- ☐試合を最高のコンディションで迎えるには
- ☐実際のサポート例の紹介



10/27 (月)

9:00~12:00 講師：山本 育史

日頃のレッスンでは思いもつかない考え方・ボール出しなど、新しい観点での講義

- ☐ジュニア12年、選手12年、コーチ歴12年
- ☐「そうなるようにしむける」レッスンを心掛けている
- ☐ボール出しは360° いろんな角度から出す

【ストローク編】

- ①ミニラリーのアレンジ
- ②ショートラリーvs詰めてボレー(ベタ詰め)
- ③手投げからの練習
- ④BGSのオープンスタンス打ちをする(BGSの回り込み)
- ⑤ボール出し時の回転や高低を変化させる
- ⑥足の運びは、どうやったら良くなるか
ワン(早く低く出して) ツー(すぐ2球目も出す)

※フェデラーは振られた時、シングルサイドラインから反対のサイドラインまで3歩の大きなステップをして打っている
同じリズムで下がってから前へ

※先日の全米オープンでベスト8以上の選手で走行距離が一番少ないのは錦織圭選手である。縦の動き方がよく、効率的に動いている。読みも良い。

※マレーは自分に近い距離や回り込みは細かいステップを使っている

- ☐今は膝を曲げるな。腰を曲げるな。腰の回転だけ打つ
- ☐ボールが正しく入るとそれがよいフォームであると考えてよい
そしてコントロール力とその確率が高いことが強さの一因である

13:00~16:00 講師：八島 正幸

現在も勉強し実践している考え方の紹介

[具体例] 小2の女の子の体験レッスンから入会までの、親子へのアプローチの仕方

(何から教えるか：長所を見抜き、褒める。大きな間違いはすぐに直す。両親の考え・目的を聞き、それに合わせた5年・3年・1年のプランを描く)

□「How to Win」の考え方を紹介

安定の練習・コントロール・パワー(スピード調整)・回転(スライス対ノーマル)・タイミング・ミスを少なくする方法

※同じ練習で個人別の目標を立てる

□グランドストロークのスピンの打ち方

□振り抜く感覚

□サーブ編の段階的指導法(スライス&スピン)

1段階：リスト、2段階：腕、3段階：肩から腕からリスト

※基本の体の機能を知る

□ドロップショットの打ち方の段階的指導法

※ネットを挟んだアングルショットの練習

□サーブの教え方の考え方

①安定の練習法 50球連続(上原君は149球連続で出来た)

②いろんな場所から打つ。コントロールでボール扱いをうまくする(外から打つスピンの練習)

最後に

□全体対応ー個別対応のバランス

□メールを使ってメンタルトレーニング

□世の中を知る 話題豊富に

□コーチへ「どんどん遊んで下さい」

□台本があるが、臨機応変できる心を

□人生の生き方そのものが全てコーチとしての

「肥やし」になる



ブラッシュアップ研修会を終えて

会員No.3460 塩見 一成

今回も盛りだくさんの内容で、実り多い研修となりました。白戸プロからは「テニスでは物理と確率が大切!」ということ、山本プロからは「作りたい動きになってしまうドリルの提案や球出しの方法」について、八島プロからはスピンのかけ方はもちろん、「本物のきちとしたものを身に付け、それを提供できさえすれば周りの方が判断してくださる、物事は自然に良い方向へ動き出す!」というお話をいただきました。効果的な指導法のみならず、プロコーチとしての在り方や生き方までも垣間見させていただきました。常にアンテナを高くすることで自己研鑽をし、誠実に取り組む姿勢の大切さに改めて気付かされました。今回の研修会で、頭に「ガッソ!!」と刺激をいただいたことは、白戸プロが話された「既成概念からの脱却」です。我々とはもすれば、無意識に自分が習ってきたことを、そのまま押し売りしてはいな

いでしょうか。これほどボールやラケットが進化しているのに、指導者の頭の中が20年前の指導理論では太刀打ちできるはずもなく、現代のテニスのスタイルとの整合性が保てなくなるのです。我々の側にこそ新しい技術に目を向け、受け入れていく柔軟さが求められているのです。今回の研修で得た知識を活かし、関わってくださる生徒の皆さんに還元していくことはもちろんのこと、お世話になったテニス界に微力ながらお返しができればと考えています。

最後になりましたが、お忙しい中この研修会を企画・運営して下さいました八島プロをはじめ、白戸プロ、山本プロ、山口先生、本当にありがとうございました。次回の研修も楽しみにしております。

(株) クリヤマススポーツプロモーションズ 自由ガ丘インターナショナルテニスカレッジ 守 隼也

今回のブラッシュアップ勉強会は、2日目のみ参加させて頂きました。

講師は、山本 育史氏と八島 正幸氏の御二方に来て頂き違った視点からの「テニス観」を学びました。

始めは、山本講師のオンコート授業で選手の能力を引き出すようなレッスンスタイルで、今まではレッスンと言えば「論理的にその選手を分析して改善点を伝える」という固定概念がありました。山本講師はその固定概念を打ち砕くような内容で、テイクバックを早くと言う時に論理的に解説するのを少なくして、方法論で修正して行く内容でした。具体的には、サービスラインに立ち、手出しでテンポの早い球出しで、更にはバウンドさせずにボールのスピードも速めで一定に出し打ち続けるというメニューでした。この場合、準備が遅れて、打点が後ろだと物理的に打ちづらくなります。

自分自身で修正する事により自然に打点が良くなり、更にテイクバックが早くなるという改善方法で選手1人1人の個性を活かすという内容でした。選手には、必要不可欠なスキルがあると思います。今まではその必要不可欠なスキルを時間が無いからとコーチのペースで指導しがちで、スキル向上の選択をコーチがする事が多くありましたが、それでは自立が遅れてしまい、内発的

動機で動く事が少なくどう能力を引き出すかを悩んでいました。

今回の研修をきっかけに、選手によっては、方法論で修正して行くという考えも頭に入れてレッスンをしていきたいと思えます。

午後は八島講師のオンコート授業で、初心者に対するテニスの導入について学びました。根性論ではなく独自の理論を基盤にして、1つ1つ分かりやすく丁寧にテニスを伝えるスタイルでした。

ポイントを取る定義は3つ①相手がミスをする、②自分がエースを取る、③相手にミスさせる

それに対して必要な要素は、安定、コントロール、スピード、回転、タイミングの5つでその5つを「テーマ」にレッスンを組む事を学びました。従来のレッスンはテーマを決めていましたが、その根源に何があるかを理解させずに自分目線で進めることが多く、伝わりにくく終わっているケースが多くあったかと思えます。

順序良く1つ1つ、1人1人にあった選択をするには多くの知識を持ち、あらゆる角度から選手を見続けることが大切なのだと思えました。

どちらの講師も選手にあった選択をして、常に情熱を持ち続けてレッスンをすることが大切なのだと思えました。



資質向上委員会より

プロテニスコーチとして必要な指導技術の資質向上の為、セミナーを実施しています。内容は多岐にわたり、プロテニスコーチ同士の意見や情報の交換の場となっています。



資質向上セミナー開催報告

9月7日(日)

講師：山本 育史 常務理事

東 海：

名古屋大学大幸医療センター

参加数：24人

テーマ：

大人向け PLAY+STAYセミナー Tennis Xpress
～大人に向けたより活動的なテニスの導入法～



9月21日(日)

講師：中嶋 康博 委員長

北海道：

ヴェルデテニスクラブ

参加数：17人

テーマ：

「コーチのあり方」(オンデスク)
「レッスンの考え方」



9月26日(金)

講師：桑原 崇 会員

東 京：

JPTA事務局会議室

参加数：15人

テーマ：

顧客満足度



10月17日(金)

講師：田中 聡明 氏
(株)ダンロップスポーツマーケティング

東 京：

JPTA事務局会議室

参加数：22人

テーマ：

テニスボールづくりの秘話(歴史・効能や性能差等)



11月7日(金)

講師：中嶋 康博 委員長

関 東：

(東京・千葉・埼玉・神奈川)

メガロス柏

参加数：42人

テーマ：

「コーチのあり方」「レッスンの考え方」



11月30日(日)

講師：山本 育史 常務理事

関 西：

江坂テニスセンター

参加数：33人

テーマ：

大人向け PLAY+STAYセミナー Tennis Xpress
～大人に向けたより活動的なテニスの導入法～



今後の資質向上セミナースケジュール

※詳細は協会ホームページをご覧ください。 <http://www.jpta.or.jp>

日 時	地 域	会 場	講 師
2月 1日(日)	東 海	名古屋大学大幸医療センター	中嶋 康博 会員 ※受付終了
2月 1日(日)	関 西	【ブラッシュアップ勉強会】グリーンピア三木	植田 雄章 氏 八島 正幸 会員 中田 研 氏 ※受付終了
2月 2日(月)	関 西	【ブラッシュアップ勉強会】ブルボン・ビーンズドーム	堀内 昌一 氏 中山 輔 氏 ※受付終了
2月13日(金)	東 京	JPTA事務局会議室	早崎 克司 氏 (ブリヂストンスポーツ株式会社)
3月26日(木)	関 西	神戸総合運動公園	西 正人 会員
3月27日(金)	東 京	JPTA事務局会議室	江島 秀雄 会員

新入会会員挨拶

※ 入会手続完了の新規会員様

氏 名	資 格	勤 務 先
宮下 幸平	プロフェッショナル3	株式会社 クリスタルプランニング
私はテニスコーチという職業に就いたばかりで右も左も分からず不安でいっぱいですが、プロテニス協会に入会し、新しいことにチャレンジするという希望に満ち溢れています。また、先輩会員の方々のように立派なテニスコーチになれるように、日々努力していきたいと考えております。		
小西 純平	プロフェッショナル3	株式会社 クリスタルプランニング
この度、JPTAに入会させていただきました、小西純平と申します。年齢は25歳で、テニスコーチ歴2年です。日々のレッスンでは、テニスをされるあらゆる方楽しんでもらえるようなレッスンを目指しております。今回、初めてプロテストを受けましたが、自身の指導力の足りないことを痛感しました。これを機会に、コーチとして日々スキルアップを目指していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。		
頼富 知樹	インストラクター	株式会社 クリスタルプランニング
テニスコーチとしてのスキルアップのため、今回プロテストを受けさせて頂きました。資格にこだわらず、今後も勉強させて頂きたいと思いますので、よろしくご指導のほどお願いいたします。		
田辺 真一郎	インストラクター	株式会社テニスラウンジ 知立・刈谷校
JPTA会員の皆様、はじめまして。名古屋に本社がありますテニスラウンジという会社の知立校でチーフコーチをしております田辺真一郎と申します。この度、JPTA会員の一人となることができました。たくさんの方々の温かいサポートに大変感謝しております。JPTA会員の先輩の皆様が築いてこられた歴史と伝統を大切に、向上心をもって日々精進して参りたいと思います。いたらぬ点が多々ありますが、よろしくお願いいたします。		
千田 征史	プロフェッショナル3	株式会社スポーツクリエイイト ザバススポーツクラブ金沢八景テニスクール
この度プロフェッショナルの資格を頂けることになり、大変嬉しく思います。レッスン技術・知識など、今後自分が成長し続けるためには継続して学び続ける事が必要不可欠だと感じています。お客様に上達を実感して頂けるように、また老若男女問わず、テニスの魅力を、そしてプレーする楽しさ、感動を伝え分かち合える、そんなコーチを目指して精進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。		
平野 拓	プロフェッショナル3	株式会社スポーツクリエイイト 上福岡西友テニスクール
スポーツクリエイイトの平野拓と申します。この度JPTAに入会させて頂くことになりました。今回プロテストを受けるにあたり、講習や先輩方からご指導、アドバイスを頂き、自分の未熟さを痛感し、レッスン等を見直すいい機会になりました。これからも積極的に講習を受け、先輩方からもアドバイスを賜ると思いますのでご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。		
高橋 和也	プロフェッショナル2	株式会社スポーツクリエイイト 高田馬場シズンプラザテニスクール
今回、JPTAの資格取得に向けて学んだことをレッスンに活かしていきたいと思います。この結果に甘んじることなく、今後もプロフェッショナル1を目指して、日々のレッスンに励んでいきたいと思っています。		
太田 雅博	プロフェッショナル3	トップインドアステージ亀戸
今まで自分がテニスを好きで居続けられているのは、自分より上手な方が分かりやすく教えてくれたからと、その方々に本当に感謝をしています。私もその方々のように、テニスをずっと好きでいてもらえるようなコーチになりたいと思います。また、テニスコーチとして育てて頂いた先輩方のためにも、JPTA会員としてたくさん勉強し、自身のスキルアップをするともに、後輩達にテニスコーチの楽しさを伝えられるようにしたいです。		
小原 大輝	プロフェッショナル3	株式会社テニスラウンジ 西岐阜校
今回、JPTAに入会出来て大変嬉しく思っております。と同時に、より一層プロコーチとして自覚をもって業務に励もうと思います。今、日本人選手の活躍でテニスに興味をもつ方が増えてきています。そういった方によりテニスに興味をもって頂くために、自分の持ち味を活かして、お客様と一緒にテニスを楽しむことでテニスを知って頂き楽しさを伝えられたらと思っております。		
杉之内 彩	インストラクター	株式会社テニスラウンジ 津校
この度、JPTAに入会させて頂くことになりました杉之内彩と申します。私がテニスを始めたのは小学生の時で、テニスの本当の楽しさに出会い、その楽しさを伝えられるコーチになりたいというのが私の夢でした。そしてJPTA認定のコーチに必ずなるという夢を追いながら今日まで過ごして来ました。その一つの夢が叶った事、本当に嬉しく思っております。今後は日本テニスの発展に貢献出来るよう努力します。		
浅尾 厚成	インストラクター	株式会社テニスラウンジ 久居校
テニスコーチの仕事を始めて3年目と、まだまだ未熟な私ではありますが、コーチとしてさらに上を目指せるよう頑張っていきたいと思っています。そのためにも、テニスとテニス以外の知識をもっとつけるよう学び、またレッスンメニュー等のバリエーションを増やし、P3、P2といった上の資格をとり、さらに成長をしていきたいと思っています。		
石橋 利教	プロフェッショナル2	株式会社レック興発
この度、JPTAに新たに入会をさせて頂きました(株)レック興発の石橋利教と申します。今回、テストを受講させて頂き、あらためて自分のレッスンやテニスを見つめ直す事ができ、またテストも楽しみながらよい緊張感の中で受ける事ができました。さらに勉強をし、自分のスキルアップはもとより、より多くの方にテニスを好きになって頂けるように、テニスの普及、強化に努めて行きたいと思っています。		
江口 貴和	プロフェッショナル3	株式会社レック興発 ネオインドアテニススクール西新井
JPTA公認プロフェッショナルとして自覚を持ち、大きなスローガン「テニスを日本一メジャーにしよう!」の基、4歳からご年配の方まで、テニスを通じて楽しさを伝えよう日々精進し勉強に励んで参りたいと思います。その一つの場としてJPTAでいろいろなことを吸収したいと考えております。また、自分自身の個性を生かして一人でも多くのファンを増やすことも大きな課題、目標として終わらなき勉強を続けていきたいと思っています。		
金澤 一朗	プロフェッショナル3	株式会社レック興発 レックインドアテニススクール上石神井
今回プロテストに合格し、JPTAの会員になったことを大変誇りに思っています。今後も勉強をする事を忘れず、よいレッスンを提供するため、努力していきます。そして目指すは、プロフェッショナル1。昇級試験に向けて頑張ります。これから宜しくお願いいたします。		
赤坂 直哉	プロフェッショナル3	ミスノテニススクール坂戸
テニスは楽しくなければ上達しない、楽しみながらレッスンを行うこと、をモットーとして日々行っております。現状のスキルに満足することなく、技術向上のために、日々勉強やレッスンを頑張っていきたいと思っています。		
中村 早苗	プロフェッショナル3	神奈中インドアテニス&ゴルフスクール
この度、JPTA認定プロフェッショナル3を取得しました中村です。今回資格を取る事ができましたが、これはあくまで通過点と考え、これからも日々努力し十分に勉強をしていきたいと思っています。そして、地域のテニス愛好者へのコーチングを通して、将来的に日本のテニス界の発展のため、微力ではありますが、お役に立てることを目標に頑張っていきたいと思っています。		
石田 恵美	プロフェッショナル3	株式会社クリヤマススポーツプロモーションズ
いろいろな分野の講義を受けさせて頂き、さらなるスキルアップを目指したいと思っています。そして、たくさんの方にテニスの楽しさを伝えていき、少しでもテニス界の発展に貢献できるよう、頑張っていきたいと思っています。		
高瀬 一久	プロフェッショナル3	株式会社 高瀬プランニング
静岡の高瀬テニスカレッジでコーチをさせて頂いています。コーチ歴は10年の33歳です。一般、ジュニアスクール、選手育成などを担当させて頂いています。JPTAのプロテストは、その勉強や準備の時間がとても貴重なものでした。今はより一層の勉強が必要だと感じています。今回、頂いた資格を持つ自覚と向上心を持ち続け、日々の時間を過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。		

資格認定・研修事業部

新テストの紹介



深谷 典央

2014年8月1日よりプロテストテストターを拝命致しました、深谷典央と申します。簡単に自己紹介をさせていただきます。

1973年生まれの41歳です。21歳でプロテニス協会に入会させていただき、現在は、横浜市のティップネス鴨居インドアテニススクールにて勤務しています。入会してから34歳まではずっとP3で、ライセンス維持の為にセミナーやコンベンションに参加するくらいだったのですが、7年前にP2へのアップテストを受験し、見事にP3のままだったのが本当の始まりでした・・・

特にプライベートレッスン、グループレッスンの奥深さに苦労し、勉強になったのが記憶に新しいです。

今後は、テストターとして講習会では受講者の皆様にわかりやすく、プロテストでは受験者の皆様を客観的に正確に採点できるテストターを目指して、取り組んでいきます。どうぞ宜しくお願い致します。会場で見かけましたら、是非、声をかけてください!!



境 敬行

この度テストターになりました、(株)メガロスの境敬行でございます。現在最年少テストターということで身の引き締まる思いです。

テストター補として一緒にさせていただいた新規講習会ではたくさんの受講者の方と出会い、自分がプロテストにチャレンジした時のこと、プロコーチを目指した初心を思い出しました。またプロテストでは余語テストター、吉田テストターをはじめ、たくさんの方から採点の着眼点やテストターとしての心構えなど、たくさんのお事を勉強させていただきました。

今後はテストターとして自覚と責任を持ち、テニスの普及そしてプロコーチの普及と地位向上の為に、更に知識と経験を深め精進していきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

新規講習会受講生の方からの感想文

資格認定・研修事業部 資格認定講習委員会

この度は、日本プロテニス協会新規講習会に参加させていただき、ありがとうございました。

今回の講習会は朝から夕方までと一日のスケジュールでしたが、初めて参加させていただいた私は、どのテーマの時もとても学ぶ事が多く、あっという間の一日でした。この講習会に参加したことでテニスを新しい角度から見る事、教わる事、学ぶ事が出来ました。今までの私のレッスンには無い教え方だったり、メニューであったりと、先輩方のレッスンを拝見する事で私の中の引き出しを更に増やすことができました。この講習会の受講を機会に、プロテストに向けてだけでなく普段のレッスンでも取り入れ、更にお客様に合ったレッスンが出来るように心掛けていきたいと思えます。そして、プロテスト当日では講習会で学んだ事を発揮出来るように頑張ります。そして、一日でも早くプロテニス協会の仲間入りを果たし、貢献が出来たらと思えます。

今回、この素晴らしい講習会を開催していただいた協会の方々には心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

2014年8月 邦和スポーツ 新規講習会受講生 杉之内 彩

2014年8月に開催された新規講習会に出席させていただきました。今年度は昨年までと違い、1日で全てを終了する事になったようです。昨年まで2日間学んだ事柄を1日で全て教えていただくという事で、とても充実した中身の濃い講習会でした。

午前中にグリップと筆記試験について学び、午後はオンコートで実技を学びました。

どれも認定試験に沿った内容なのはもちろんですが、日々のコーチングにもすぐにでも活かせる内容でしたので、大変満足しております。

これから十分に勉強し、資格が取れるよう努力していきたいと思えます。ただ、資格を取るのが最終目標ではなく、それはあくまで通過点で、資格が取れたら、その後も日々勉強していきたいと思えます。

そして、地域のテニス愛好者への指導や、将来的に日本のテニス界の発展の為、微力ではありますが、お役に立てる事を目標に頑張っていきたいと思えます。

2014年8月 JPTA事務局・高輪テニスセンター
新規講習会受講生 中村 早苗

私は10月に開催されるJPTA資格認定試験を受けるために、今回参加をさせていただきました。参加者は私を含めて7名でした。私以外の参加者は全員他クラブのコーチの方で、日頃は他クラブの方と知り合う機会がないので、お互いに情報共有するなど良い刺激になり、とても有意義な時間でした。

講習会の内容は、午前は座学を行い、グリップや筆記テストについて教えていただきました。午後はオンコートでプライベートレッスン、グループレッスン、打球テストを学びました。指導員の方々のレッスンを拝見させていただき、とても簡潔で楽しく上達できる内容のレッスンに驚きました。また、テストで注意すべきポイントをわかりやすく解説していただき、とても参考になりました。更に練習し、プロテスト当日を迎えたいと思えます。

2014年8月 邦和スポーツ 新規講習会受講生 村瀬 雅

講習会に参加させていただき、座学では基礎知識の確認、その他に余語先生の色々なテニス界の話などがあり午前中があっという間に過ぎてしまいました。午後は品川のコートでのレッスン講義。

今回は光栄にも生徒さん役に選んでいただき、実際に余語先生のレッスンを受けながら指導を受ける事が出来ました。生徒さんへの声のかけ方やレッスンの流れ、ヒッティングと球出しの分け方や盛り上げ方など、とても勉強になりました。

これからテストまでの時間、更にはテスト後も常に今回の講義を復習し自分のレッスンに磨きをかけて行きたいと思えました。

今回は講師の先生方、また、このような勉強の機会を作っていただいた日本プロテニス協会の皆様に心から感謝申し上げます。

2014年8月 JPTA事務局・高輪テニスセンター
新規講習会受講生 石田 恵美

プロテスト委員会 プロテスト(UPテスト) 資格昇級者

日 時: 2014年7月3日(木)・4日(金)

会 場: メガロス千種

受験者数(新規含む): 7名

会員番号	氏 名	資格	勤務先
3747	山崎 鉄也	P2	メガロス
3131	岡田 守弘	P1	ハードボールテニス

日 時: 2014年10月2日(木)・3日(金)

会 場: TOPインドア多摩

受験者数(新規含む): 16名

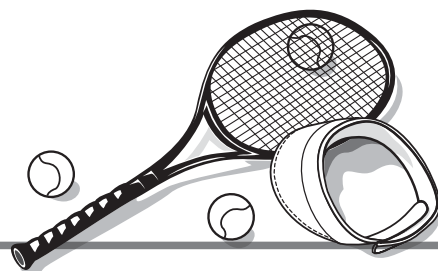
会員番号	氏 名	資格	勤務先
1912	渡辺 隆	P2	有明ベイサイド・ジュニアテニスアカデミー
3709	金内 健雄	P2	ティップネス鴨居インドアテニススクール

日 時: 2014年7月28日(月)・29日(火)

会 場: GODAIテニスカレッジ船橋

受験者数(新規含む): 16名

会員番号	氏 名	資格	勤務先
3766	佐藤 光徳	P3	きさらづアウルテニスクラブ
3116	大橋 明	P3	GODAIテニスカレッジ
3641	佐竹 君仁	P2	GODAIテニスカレッジ
3751	佐々木 俊己	P1	TOPインドアステージ亀戸



協会ホームページのコーチ紹介に掲載をお願いします

掲載をされていない方は、是非この機会にJPTAホームページをご活用ください。
現在掲載されている方は、内容を今一度ご確認ください最新情報のご申請をお願いいたします。

コーチ紹介

詳細はJPTA
ホームページより
ご確認をお願いいたします。
変更は会員サイトより
ご申請いただけます。



《所属先》

現在のご勤務先をお知らせください。

《プロフィール/フリーコメント》

自己紹介・現在の情報等 会員様で自身で自由にコメントいただけるスペースです。
文字数: ~300文字(目安)

《心がけ・モットー》

レッスン時に心がけている事や、モットー、あなたのコーチとしてのポリシー等をお知らせください
文字数: ~300文字(目安)

《その他の資格エリア》

JPTA、USPTAの資格以外に他団体の資格などを記載いただけます。
その他: 委員アイコン: 役員・地区長・委員・テスターなどのJPTAの活動役職が表示されます。

《顔写真》

ご自身の顔写真を下記メールアドレスに添付(JPEG)して事務局までご送付ください。
※必ずフォルダ名に会員番号とお名前をご記載ください。

【ご提出方法】

データの添付ファイル名/フォルダ名には必ず「会員番号・お名前」をご記載ください。

【ご提出先】 jpta-info@jpta.or.jp

※JPTA会員専用ページ【各種申請手続き】よりご申請いただけます。
※会員サイトのパスワードがご不明な場合は、事務局までお問い合わせください。

地区便り [北海道地区]



北海道地区の地区長を務めさせていただいております宮の森スポーツ倶楽部の藤原弘明と申します。宮の森スポーツ倶楽部は、テニススクール・ゴルフスクール・ジュニア体育・レクリエーションスポーツなどの総合スポーツスクールを、札幌を中心に道内に8店舗を展開しており、テニス・ゴルフを中心にさまざまなスポーツを大人の方からお子様まで幅広く体験できるスポーツクラブです。現在私は、宮の森スポーツ倶楽部（東麻生校）に勤務しておりますので、お近くにいらっしゃる方がございましたら、遠慮無くお声を掛けてください。

北海道地区の活動状況として、年に1回程度の幹事会・資質向上セミナーの開催を行っていますが、まだまだJPTA会員に対して積極的に活動出来ていないのが現状です。

今後は北海道地区の幹事と相談しながら北海道地区の会員向けの、指導能力・技術レベルアップ・接客等のセミナーを開催しコーチとしてのスキルを上げられるよう貢献したいと思います。まだ、地区の活動としての流れはできていませんが、今後皆様からも色々意見・アドバイスを頂けたら幸いです。少しでも北海道地区の力になれば良いと思います。今後、ご指導・ご協力をお願い申し上げます。



藤原 地区長

地区会活動報告

神奈川地区 月例地区練習会「賞金付」

神奈川地区では毎月スクール所属の現役コーチの為に練習会を開催し、勉強しながら交流を深めています。

- 試合形式：当日抽選によるダブルス（女性15ハンデあり）
- 試合方法：リーグ戦後、順位別トーナメント
- JPTAポイント：1ポイント
- 毎月第2日曜日に開催

開催日：8月17日 参加者：16名
会場：小田急藤沢テニスガーデン
優勝：池田 孝郎 会員・細谷 勝美 会員
準優勝：森 信 コーチ・井上 泰男 会員

開催日：9月14日 参加者：14名
会場：小田急藤沢テニスガーデン
優勝：森 信 コーチ・小林 祐樹 会員
準優勝：三森 康史 会員・荒川 裕紀 コーチ



北海道地区

中嶋康博氏を講師にセミナーを開催しました。

開催日：9月21日 参加者：17名 会場：ヴェルデテニスクラブ

【参加者の感想～アンケートより～】

- ・色々なお話が聞けてとても参考になりました。明日からのレッスンで早速使いたいです。
- ・久しぶりの中嶋先生のセミナーはとても懐かしく、心地よく楽しいセミナーでした。昔勉強したことや教えていただいた内容に改めて感動し、頑張ろうとまた思いました。
- ・すべてを今回のセミナーでは何えなかったもので、また次回に期待したいです。



東海地区

山本育史氏を講師にセミナーを開催しました。

「大人向けPLAY+STAY」セミナー
Tennis Xpress
～大人に向けたより活動的なテニスの導入法～

開催日：9月7日
セミナー参加者：24名 会場：名古屋大学大幸医療センター体育館
地区会参加者：12名 会場：名古屋マリオットアソシアホテル

【参加者の感想～アンケートより～】

- ・「PLAY+STAY」の簡単なメニューを知ることが出来て良かった。
- ・生徒役が実際に初心者でイメージがとてもしやすかった。
- ・2か月に1度東海セミナーがあれば参加したい。これからなるべく参加したい。



関東（東京・神奈川・千葉・埼玉）地区

中嶋康博氏を講師に初の試みとして、首都圏合同セミナー・地区会を開催しました

開催日：11月7日
セミナー参加者：42名 会場：メガロス柏
地区会参加者：33名

【参加者の感想～アンケートより～】

- ・合同地区セミナー・地区会は大人数で集まれるので良いと思う。
- ・様々なアイディアに富んでおり、又実践にすぐに生かせる点が良かったと思います。
- ・色々なメニューを紹介していただき、クラブに戻ってスタッフに説明したいです。



関西地区

山本育史氏を講師にセミナーを開催しました。

「大人向けPLAY+STAY」セミナー
Tennis Xpress
～大人に向けたより活動的なテニスの導入法～

開催日：11月30日
セミナー参加者：33名 会場：江坂テニスセンター
地区会参加者：28名

【参加者の感想～アンケートより～】

- ・日常のレッスンで迷っている部分に対しヒントになりました。
- ・レッスンにすぐフィードバックできる内容だったと思います。今後もセミナーを関西地区でも続けてほしい。
- ・普段のレッスンでついマンネリになっていたのが改善策が発見できたのが良かった。



九州地区

九州地区では本年度も九州地区会と会員のスクール生を対象としたスクール対抗テニス大会を開催しました。

地区会開催日：9月14日 参加者：15名
会場：北九州ウエストサイドテニスクラブ

【地区会参加者の感想～開催報告より～】

昨年よりも多くの会員が集まり、萩原顧問のJPTA発足当時に関するお話しや、JPTA九州地区の今後を担う会員への激励の言葉を頂戴しました。参加会員からの、今後の九州地区会にて実施して欲しい内容など、終始良い雰囲気でお終る事が出来ました。

スクール対抗戦開催日：9月15日 参加者：33名
会場：北九州ウエストサイドテニスクラブ

1チーム4名構成が2ダブルスにて対戦し、コンソレまで実施しました。お昼にはお弁当を食べながらの商品抽選会や、参加者への無料クリニックなど、大変盛り上がったイベントを実施する事が出来ました。



▶ 今後の地区セミナー開催予定

【東海地区セミナー・地区会】

開催日：2月1日 会場：名古屋大学大幸医療センター体育館
講師：中嶋康博氏

【神奈川地区月例地区練習会】

開催日：毎月第2日曜日 会場：小田急藤沢テニスクラブ

JPTA会員人物紹介



会員人物紹介では、理事、地区長、幹事の皆様からの情報を基に、各地区で活躍している会員をピックアップし紹介します。

今回、北海道地区から2名の会員をご紹介します。1人目は「宮の森スポーツ倶楽部」の一般テニス部門の統括責任者をしていす細田基次会員です。細田会員は、私と同じ職場で勤務しており、宮の森スポーツ倶楽部に無くてはならない人物です。2人目は、「(株)アドバンテージ」の近藤真弘会員です。近藤会員は「スウィング89」でヘッドコーチをしており、現在は、JPTAのプロフェッショナル1の資格を修得するためにコーチの勉強中です。近藤会員には、将来テストの資格を修得するまで頑張ってくださいと思っています。

北海道地区長 藤原 弘明



細田 基次 会員

会員の皆様、初めまして。北海道宮の森スポーツ倶楽部の細田基次と申します。

弊社は、札幌市内に宮の森校・宮の沢校・東麻生校・北野校・新さっぽろ校の5校、そして、市街の旭川校・苫小牧校・岩見沢校と計8校あり、そ

の中で私は、宮の森校・宮の沢校・北野校の3校にて勤務しております。

現在テニススクール・ジュニアテニススクール・ゴルフスクール・体育スクール・レクリエーションスポーツスクールの種目を行っており、私はテニススクール部門の統括をしております。

さて、「そもそもテニスのレッスンとはどうあるべきなのか？」入社以来、ずっとこの問いの答えを模索しながらやっております。

勝負事での勝ち負けが出る訳ではないし、レッスンが終わった後、点数が出る訳でもないし、自分としては良いレッスンが出来たかなと思っていても、お客様の反応がそうでもなかったり、若しくはその逆もあります。結局は、その時間に集まって頂いたお客様に、楽しく汗をかいて達成感のあるレッスンを提供するという事なのかもしれませんが、おそらくそれはコーチを職業としている方々は全員が普段から意識をされている事でしょう。

では、「そのコツは何なのか？」

私は数学の公式的に物事を考えるのが好きなので、良いレッスンの公式を自分なりに作ってみました。

お客様が良いと感じるレッスン=熱意×技術力×指導力×コミュニケーション能力、全ての要素が高いレベルにあれば文句なしで

しょうが、掛け算になっているのがミソで、1つの要素が0点であれば合計は0点になってしまうという事です。そして、どの要素も勿論大切ですが、私が特に現場で大切だと思っているのはコミュニケーション能力です。

お客様との関係は、壁があり過ぎては良くないし、壁がなくても良くない気がします。どれだけ親身になり親しみを持ってお近づきになれるか？そこにコツがある様な気がします。言い換えれば、「聞く力と伝える力を磨く事」。まず、お客様をよく見る。そして、お客様の考え方・感覚をよく聞く。そして、より良くなる為のアイディアを親しみを持って判り易く伝える。

簡単に言うところの事なのですが、それがなかなか難しく、私自身が自分に足りないと思っているのは聞く力です。

話の途中でもう全部判った気になって、オチまで想像してしまい、質問もどんどん浮かんできてしまうため、聞く事に集中が出来ません。

という訳で、阿川 佐和子著の「聞く力」を読んだりしたのですが、まだまだ身に付くまでに時間が掛かりそうです。

会員の皆様と交流した際には、良いレッスンとは？に関して、一緒に深～いお話をしたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

<プロフィール>

- ① テニス 歴 22年
- ② コーチ 歴 17年
- ③ ライセンス JPTAプロフェッショナル1
USPTAエリートプロフェッショナル
- ④ 趣 味 将棋
- ⑤ レッソンのモットー
ハートのあるレッスン
- ⑥ 好きな言葉 一日一生



近藤 真弘 会員

会員の皆様、初めまして。私は(株)アドバンテージの近藤真弘と申します。現在、北海道札幌市東区にある「スウィング89」という施設でレッスンをしております。

私がテニスを始めたきっかけは、小学校5年生の夏休みの時に、親戚一

同がニセコ(北海道のスノーリゾート、夏は避暑地になります)に集まり、そこでテニスをしよう!という事でなんとなく連れられて行ったテニスコートでした。

はじめはコートサイドでプレーを見ながら虫捕りなんかをしていたのですが、その傍らチラチラとコートを見ているうちに、どうしてもテニスがしたくなり、無理やりコートに入れてもらった事を今でもはっきりと覚えています。その後はテニスの魅力にどっぷりとはまり、大学生の時、アルバイトコーチでレッスンを始めた事をきっかけとして、レッスンをやる事の楽しさを知り現在に至っています。

これまで本当に飽きっぽく、何をやっても長続きがしなかった私ですが、現在40歳まで続けられているのは、ひとえにテニスの魅力なのだと思います。

私たちのスクールでは、毎月必ず数個のイベントがあります。特に、「夏のビアパーティー」は毎年の恒例行事となり、かなりの盛り上がりを見せています。

お客様が普段なかなか話すことのない、ご自分の担当外のコーチや、いつもなら顔を合わせることのないお客様同士とも、安心して楽しくコミュニケーションが取れ、充実の時間になるようコーチ陣は心がけています。その為に、レッスンの勉強はもちろんの事(只今P1取得を目指して勉強中です!)、色々な分野の勉強が必要だと感じています。特に人とのコミュニケーション能力を磨くために日々勉強中です!

これからも、色々とお客様の役に立てよう頑張っていきたいと思っています。

皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

<プロフィール>

- ① テニス 歴 30年
- ② コーチ 歴 20年
- ③ ライセンス JPTAプロフェッショナル2
- ④ 趣 味 海釣り
- ⑤ レッソンのモットー
楽しく、そして上達できるレッスンをします!
- ⑥ 好きな言葉 成せばなる!



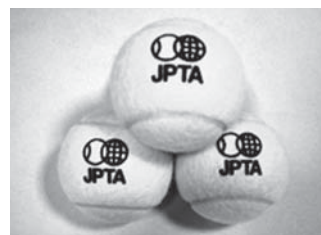
会員サービス委員会より お知らせ

JPTAでは、会員価格でのグッズの
販売や会員サービスを行っています。
詳しくは事務局までお問合せください。



JPTAロゴマーク入り ブリヂストンスポーツ オフィシャルボール

毎月末日締切：3か月後納品
(例：2月末 締切 ▶ 5月 納品)



JPTAヨネックス オフィシャルウェアについて

2015年度のご案内

■ 受付：7月中旬以降予定



GOSEN スtringス

■ 販売価格：40%OFF (税別)
■ 定価30,000円未満での
ご注文の場合、別途送料



JPTAのぼり旗

テニススクール用：3種
(W600 × H1800)

■ 販売価格：1枚1,030円
(税込・送料別)

*ボールと台座(アンカー)は販売して
おりません。

現在は3種類での販売をしておりますが、
「配色・文言」等会員の皆さまのお声を
反映させていただき、今後は種類を増や
していく予定です。
ご意見をお待ちしております。



JPTA 記念ピンバッジ

数量限定 スクールイベントの
景品やプレゼントに。



JPTA (USPTA) マーク入り 名刺台紙 1セット 100枚入り

※保持資格により異なります。
※準会員様用名刺もございます。

① 台紙のみ (印刷なし)

■ 販売価格：100枚入り1セット
1,300円 (税込・送料込)

② 印刷込み (台紙とセット購入のみの対応)

■ 販売価格：100枚入り1セット
3,600円 (税込・送料込)

・印刷は片面のみ。
・規定フォーマットあり。



①イメージ：台紙のみの場合



②イメージ：JPTA/USPTA資格取得会員の場合

※ 別途送料が必要となる場合もございますのでご了承ください。

【購入について】

会員価格にてご購入いただけます。
必要事項をご記入の上、事務局までFAXをお願いします。
詳細、申込書は協会ホームページをご覧くださいませよう願いたします。
協会ホームページ会員サイト→オフィシャルグッズ

【その他】

■慶弔見舞金制度により見舞金を受けることができます。
(③入院以外はご要望により会報誌掲載もさせていただきます。)
※ 発生日より3ヵ月以内(③入院は退院日より3ヶ月以内)の申請が必要となります。
申請書は、ホームページにてご案内しております。

- ①結婚祝い金 (20,000円)
- ②出産祝い金 (第1子：10,000円、第2子以降：5,000円)
- ③1ヶ月以上の入院 (10,000円)
- ④会員死亡 (100,000円、弔電)
- ⑤親族死亡 (弔電)

■JPTA主催のセミナー、イベント、コンベンション
等に会員価格にて参加することができます。

その他、テニスに関する保険や共済制度、JPTA
オフィシャルスクールの名称使用等 (要申請・認
定) ご用意しております。
詳しくは、協会ホームページをご確認いただくか、
JPTA事務局までお問合せください。



facebook 始めました。

イベントやお知らせを中心に画像と共に皆様へ情報発信しております。
配信メールと合わせてご活用ください。
また、情報のご提供も受け付けております。事務局までお問合せください。

JPTA HOT NEWS

～協会情報メール配信サービスのご案内～

登録
受付中

出来るだけリアルタイムな情報を会員の皆様へお届けするメール配信サービス (JPTA HOT NEWS) です。
ご希望の方はJPTAホームページ会員サイトへログインしていただき、下記登録フォームからメールアドレスをご登録お願いいたします。

※メール配信の利用料は無料ですが、インターネットの利用に伴う通信料は会員様負担となりますのでご了承ください。
(配信は不定期となります)

送信者

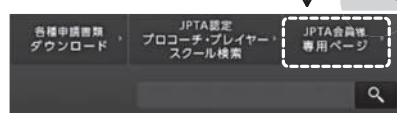
パソコンの場合
携帯の場合

【公益社団法人 日本プロテニス協会】
【jpta-haishin@jpta.or.jp】

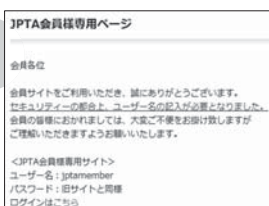
1 JPTA協会ホームページへアクセスください



2【拡大】JPTA会員様専用ページをクリック



3



4【拡大】クリック



5 登録アドレスをご入力 いただきご登録ください



JPTAホームページ 会員専用サイト

求人広告掲載受付中

ホームページの会員専用サイトに求人広告を掲載することができます。ご希望の方は下記項目をメールにてお送りください。

また、年2回の発行となりますJPTANEWSの人材募集コーナー(有料)も併せてご利用ください。

ご不明な点がございましたら、JPTA事務局までご連絡ください。

《原稿送信・問合せ先》 広報委員会 事務局担当まで

e-mail: jpta-info@jpta.or.jp

メールの件名に「会員専用サイト求人掲載」とご入力ください。尚、原稿はお送り頂く前に、ご一報を頂けると幸いです。宜しくお願い致します。

求人広告掲載内容詳細

【求人広告掲載事項】 会員専用サイトに掲載される項目です。

- ・会社名(クラブ名)
- ・勤務地
- ・職種
- ・応募資格
- ・待遇
- ・問合せ先(担当者名含む)

【掲載期間】 1か月

掲載の延期または期間内の掲載取り下げの際はお申し出ください。掲載はご申請頂いた日から作業の都合上、3日～5日のお時間を要する場合がありますのでご了承ください。

【掲載料】 無料 (当面は無料で掲載となります)

平成27年度年会費請求書送付方法について

平成27年度年会費お支払いに伴い、年会費振替のご案内・請求書発送についてご案内をさせていただきます。支払い方法によって振替のご案内・請求書のご郵送時期が異なりますので、ご確認をお願いいたします。なお、4月末日までに協会事務局にて入金の確認が出来なかった場合は、延滞金が増加されますので予めご了承ください。

■『三菱UFJニコス集金代行、振込のご対応の会員様』

3月末頃を目途にJPTA事務局より請求書をご郵送。

■『三栄収納サービス集金代行のご対応の会員様』

4月上旬頃に三栄収納サービスより振替案内(はがき)を直接ご郵送。

ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

平成27年度退会・ノンライセンス移行の手続きについて

退会(JPTA、USPTA)、会員種類変更(シニア会員、ノンライセンス会員への変更)の移行手続きにつきましては、JPTAホームページの会員専用サイトにログイン後、各届出用紙のダウンロードを行うか、直接事務局に必要書類の送付をお申し込みください。

【送付物 / 必要書類】

- ・申請用紙(記入・捺印済みの物)
- ・必要添付書類(認定証と会員カード)※シニア会員への変更の場合は返送不要

上記を揃えていただきまして下記期日までにご郵送をお願いいたします。

【提出期日】 平成27年3月31日(火)必着 (なるべくお早目の提出をお願いいたします)

※会員サイトのパスワードがご不明な場合は、事務局までお問い合わせください。

※メール、FAXでの受付はできません。原本と必要書類のご郵送のみの受付となります。

おめでた

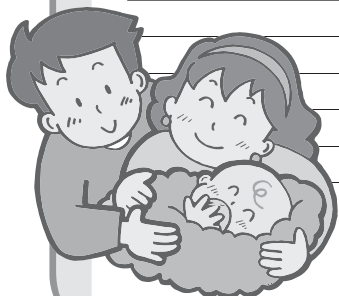
★ ご出産 平成26年 5月 18日 日暮 直樹 会員
め以子(めいこ)ちゃん
平成26年 7月 8日 岡本 裕貴 会員
昊(そら)くん
平成26年 9月 9日 市野瀬 泰之 会員
陽太(ひなた)くん
平成26年12月 6日 田中 岳哉 会員
佑昌(ゆうすけ)くん
平成27年 1月 1日 池田 瞳 会員
悠汰(ゆうた)くん

おくやみ

平成26年7月28日
川井 直人 会員 ご尊父 川井 隆博 さま
平成26年7月30日
海野 広規 会員 ご母堂 海野 かな江 さま
平成26年8月11日
田村 直規 会員 ご令室 田村 恭子 さま
平成26年8月15日
北野 篤 会員 ご尊父 北野 正康 さま

慶弔申請方法

JPTA会員サイトより正会員慶弔届(PDF)をダウンロードし、ご記入、ご捺印後JPTA事務局までご郵送をお願いいたします。なお、慶弔金のご申請は発生日より3ヶ月以内となります。



■■■ 平成27年・28年度役員候補者選挙に関するご案内 ■■■

1月22日(木)に告示表並びに投票用紙を発送させていただきました。

立候補についてのご案内は、「役員候補者選任規程」に基づき、選挙権・被選挙権(シニア会員の方は投票権のみ)のある正会員の皆様は昨年11月28日に送付致しました。

※規程では投票日90日前現在(今回は10月28日時点)において年会費を完納されている事が、選挙権・被選挙権が与えられる要件となっております。同日までに年会費が未納の方には今回の選挙に関する資料をお送りしておりませんので、予めご了承ください。

下記のスケジュールにて平成27・28年度の協会役員が選ばれます。

〈スケジュール〉

選挙の告示 並びに 投票開始	▶ 1月26日(月)
投票締切り(当日消印有効/25日必着)	▶ 2月24日(火)
開票	▶ 2月26日(木)
開票通知発送	▶ 2月27日(金)
「役員候補者選任規程」第10条により開票翌日に ①結果通知文書の発送 ②メールマガジンの配信 ③会員専用ウェブサイトへの掲示	

二年間、協会の舵取りを担う役員を選ぶ大切な選挙です。
多くの会員の意思が反映されるよう、ご投票をお願い致します。

投票締切り
2月24日(火)
※当日消印有効 / 25日必着

役員候補者選任規程

(目的)

第1条 この規程は、定款第21条の(1)理事の候補者を選任する事項について定める。

(選挙の管理)

第2条 理事候補者を選任する選挙に関する庶務事項を管理するため、選挙管理委員会を設置する。

(選挙管理委員会)

第3条 管理委員会は3名で構成され、理事長が正会員の中から理事会の承認を得て任命する。

2. 選挙管理委員会は理事長の指名により、1名委員長を定める。

(選挙の方法)

第4条 選挙は全国を一選挙区として連記無記名投票により行われ、選出される定数は12とする。

(選挙権)

第5条 選挙権は投票日開始日の90日前現在の在籍者で、当該年度の年会費を完納した正会員に与えられる。

(被選挙権)

第6条 被選挙権は投票日開始日の90日前現在の在籍者で、当該年度の年会費を完納し、且つ選挙管理委員会に立候補届を提出し、期間内に受理された正会員(シニア会員除く)に与えられる。

2. 前項の規定にかかわらず、以下の事由のいずれかに該当する者は、被選挙権を有しない。

①公益法人が公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)(以下「認定法」という。)第29条第1項又は第2項の規定により公益認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内に当該公益法人の業務を行う理事であった者でその取消しの日から5年を経過しないもの

②次の事由により、罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者

(1) 認定法の規定に違反したこと

(2) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号)の規定に違反したこと

(3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)の規定(同法第32条の2第7項の規定を除く。)に違反したこと

(4) 刑法(明治40年法律第45号)第204条、第206条、第208条、第208条の3第1項、第222条又は第247条の罪を犯したこと

(5) 暴力行為等処罰に関する法律(大正15年法律第60号)第1条、第2条又は第3条の罪を犯したこと

(6) 国税又は地方税に関する法律中偽りその他不正の行為により国税又は地方税を免れ、納付せず、若しくはこれらの税の還付を受け、若しくはこれらの違反行為をしようとするに關する罪を定めた規定に違反したこと

③禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は刑の執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者

④暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員(以下単に「暴力団員」という。)又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者

3. 理事に立候補するためには、一年度内の理事会に3分の2以上、出席できる見通しがなければならない。

(投票)

第7条 投票は郵便投票によって行われる。告知期間は30日とし、投票日の締切は理事選挙が行われる年度内の理事会において、選挙ごとに決定する。

(開票集計及び確定)

第8条 投票締切日付消印のあるものを有効とし、選挙管理委員会は監事立会いのもとに開票集計を行い、得票数上位者12名を当選者と確定する。但し、投票数が同じ場合は入会日の早いものを上位者とする。

(繰り上げ当選)

第9条 投票日より一年以内に選挙によって選ばれた12名に欠員が生じた場合は、得票数13番目以下の候補者を順次繰り上げ当選とする。

(通知)

第10条 開票当日、立候補者全員宛に電話連絡し、結果通知文書を発送する。

2. 開票翌日、会員全員に対し以下の方法で結果を通知する。

①結果通知文書の発送

②メールマガジンの配信

③会員専用ウェブサイトへの掲示

3. 前項の①については、全ての立候補者とその得票数を得票順に掲載し、②③については、当選者のみを届出順に掲載する。

(推薦枠)

第11条 会長・副会長・理事長はそれぞれ1名(計3名)の推薦枠を有する。常務理事会は5名以内の推薦枠を有する。

(役員候補者の認定)

第12条 選挙により選出された12名に前条推薦枠による候補者を加えて役員候補者名簿を確定する。

(適用)

第13条 この規程は、平成7年度の役員選任時より適用される。

(改廃)

第14条 この規定の改廃は、理事会の決議により行う。

2013年5月 改定版

● JPTA 公認企業・公認商品

積極的に利用し、生徒さん等関係者におすすめてください。

ウェア YONEX ヨネックス株式会社
ボール BRIDGESTONE ブリヂストンスポーツ株式会社
ストリングス GOSEN 株式会社ゴーセン

● JPTA 推薦企業・ブランド

大塚ターフテック株式会社
Doron ドロン

● JPTA 賛助企業

JPTA は下記の企業の賛助を受けています。

- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- ・株式会社ダンロップスポーツマーケティング
- ・株式会社ヤマハリゾート (つま恋)
- ・東京ウエルネス株式会社
- ・有限会社リックスコミュニケーションズ
- ・株式会社ゴールドウイン
- ・株式会社ナイキジャパン
- ・ミズノ株式会社
- ・スポーツサーフェス株式会社
- ・株式会社テニック

● 編集後記 ●

理事任期の2年が過ぎようとする中、編集長として無事に今号をお届けできたことに感謝致します。今回もまた、盛りだくさんの内容となりました。原稿をお寄せくださった関係各署の皆様、ありがとうございました！

JPTA NEWSは、いつの時代にあっても会員の皆様が楽しみにしてくださり、お役に立てる内容であることをモットーに、切磋琢磨しつつ情熱を引き継いで作製していくべきものと思っています。皆様のご意見・ご感想をぜひ！お寄せください。お待ちしております！！

編集長：金丸 由紀

JPTA会員の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年7月半ばに入局し、たくさんの方のご協力のもと広報として初めてJPTA NEWSに携わらせていただきました。無事に皆様へお届けすることができ大変嬉しく思います。ありがとうございました。

半年間のJPTAの活動がざっくりと詰まっております。ご覧いただき、ご意見やご希望、ご感想等ぜひ皆様の声をお聞かせください。お待ちしております。

そして、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

荏澤 陽子

皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

JPTA NEWS 1月号いかがでしたでしょうか？この半年を振り返ると多くの事業が開催され、充実した内容でお届けできた事を嬉しく思います。活字がメインですが、これからも皆様にご愛読いただけると幸いです。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

これからも充実した内容でJPTA NEWSをお届けする為に皆様のご協力が不可欠です。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

米津 瑠美